

※以下の日本語版投稿規定は、Journal of Physiological Anthropology (JPA) 編集委員会が独自に翻訳したもので、誤訳や抜け落ちの可能性があります。また、投稿規定は随時改定されることがありますので、利用に当たっては参考にとどめ、必ずオリジナルの投稿規定を確認して下さい（2016年10月）。

<http://jphysiolanthropol.biomedcentral.com/submission-guidelines>

## Submission guidelines 投稿のガイドライン

### Our 3-step submission process 投稿プロセスの3ステップ

#### 1. Before you submit 投稿する前に

論文を投稿するジャーナルを決めたら、投稿する前に確認しておかなければならないことがあります。

- 最もふさわしいジャーナルかどうか確認しよう
  - Aims and scope
- 論文掲載料と料金のオプションについて理解しよう
  - Fees and funding
- 原稿は正確かつ分かりやすく書かれているか確認しよう
  - Language editing services
- 著作権についての取り決めに理解しよう
  - Copyright

#### 2. Ready to submit 投稿の準備

あなたの論文が出版されるように、以下のポリシーとフォーマットのガイドラインに従って下さい。

- JPA には、以下の論文のタイプがあります：
  - Original article 原著論文
  - Commentary コメンタリー
  - Methodology article 研究方法報告
  - Review 総説

- Short report 短報

あなたが投稿しようとする論文のタイプに従って、上記のリンクをクリックし、原稿のスタイルとフォーマットを確認して下さい。

- 全ての論文のタイプに共通したフォーマットのルール
  - Preparing your manuscript
- 投稿するときに必要な情報
  - Prepare supporting information
- 著作権とライセンスに対する同意
  - Conditions of publication
- 編集方針に対する同意
  - Editorial policies

### 3. **Submit and promote** 投稿とプロモーション

投稿論文が採択（アクセプト）されたら、あなたの論文が学界やそれ以外のさまざまな環境で最大限のインパクトを与えるようにサポートします。

- だれがこの論文のアクセプトを決定するの？
  - Peer-review policy
- 投稿論文が却下された時、他のジャーナルに再投稿したいですか？
  - Manuscript transfers
- 論文のプロモーション活動は？
  - Promoting your publication

### **Aims and scope** 目的と範囲

*Journal of Physiological Anthropology* (JPA)はオープンアクセスでピアレビューのジャーナルです。現代に生きる人類の生理機能に関する研究論文を刊行します。特に、現代の環境に対する適応能力についての生物学的及び文化的影響について注目します。

JPAの目的は、現代の生活環境に対する生理的適応を評価し、人間生活に対する環境の影響に関連した様々な領域の研究論文を出版することです。

トピックスには以下の領域が含まれますが、これらに限定されるわけではありません。

- environmental physiology 環境生理学
- bio-cultural environment 生物-文化的環境
- living environment 生活環境
- epigenetic adaptation エピジェネティックな適応
- development and growth 発育と発達
- age and sex differences 加齢と性差
- nutrition and morphology 栄養と形態
- physical fitness and health 体力と健康

JPA は、日本生理人類学会の公式刊行物です。

## **Fees and funding 費用と支援金**

### **Article-processing charges 論文掲載料**

オープンアクセス出版には経費が必要です。従って、JPA は、採択された論文一編につき、£1000/\$1565/€1275 の論文掲載料 (article-processing charge, APC) を徴収します。もし、論文の著者が所属する研究機関が BMC の会員であるならば、論文掲載料はその研究機関が支払い、それ以上の支払いは必要ありません。しかし、著者が所属する機関がサポート会員の場合には、著者には論文掲載料の減額が適用されます。低所得国に対しては、論文掲載料を免除します。その他の国については、各々の著者の経済的な状況に応じて論文掲載料を免除又は減額することができます。著者は、論文を投稿する過程の中で論文掲載料の免除や減額を申請することができます。より詳しい内容については、論文掲載料のページを参照して下さい。

JPA は、筆頭著者が日本生理人類学会 (JSPA) の会員である場合には、論文掲載料が減額されます。JSPA への入会については、学会事務局または学会のホームページにアクセスして下さい。

## **Language editing services 英文校正サービス**

あなたの論文に記載された研究を、編集者や査読者が正確に理解するために、論文は十分に質の高い英語で書かれなければなりません。もし、英語で書くことに対して助けが必要ならば、以下について検討して下さい。：

- English language tutorial のサイトを覗いてみて下さい。ここでは、英文を書くときの一般的な間違いを示しています。
- 英語を母国語とする同僚や友人に原稿を見てもらって下さい。
- プロの言語校正サービスに依頼して下さい。それによって、編集者はあなたの論文の意味を明確に理解できるようになり、査読での問題点が明らかになります。BMC の関連のサービスとして、Nature Research Editing Service と American Journal Experts があります。

言語校正サービスを利用することは、論文を掲載するための条件ではありません。また、それによって論文の査読や採択が保証されるものでもありません。

## **Copyright 著作権**

- BMC のオープンアクセスの論文の著作権は、著者に帰属します。
- 著者は、BMC にオリジナル出版社としての論文の著作権を与えます。
- 著者はその完全性が維持され、著者名、引用の詳細、出版社名が明示される場合には、第三者に当該の論文を自由に使用する権限を与えます。
- 出版物についての用語や条件については、クリエイティブ・コモンズ 4.0 ライセンスによって承認されています。

BMC の著作権ポリシーに加えて、いくつかの雑誌ではオープンデータポリシーにも従い、これらの雑誌に発表された全てのデータは [Creative Commons CC0 1.0 Public Domain Dedication waiver](#) が適用されます。より詳細な情報は個々の雑誌のページを参照して下さい。

著者が著作権の所有者になれない場合（例えば、アメリカ政府や連邦政府の職員の場合など）には、修正が必要となります。そのような場合は、個々の論文の著作権とライセンスの宣言は、例えば、「©2016Crown copyright」のように修正されます。著者がこのような表現を必要とする場合には、論文を投稿する時か投稿後直ちに BMC に連絡して下さい。

## **Exceptions to copyright policy 著作権ポリシーの例外**

ポリシーのページには、上述のポリシーとは異なるポリシーに従って過去に出版された論文についての著作権とライセンスについて示しています。例えば、BMC が他の出版社と共同で出版した論文で、異なるライセンス条件が適用されたものがあります。しかしながら、そのような全ての場合において、それらの論文へのアクセスは、料金やその他のアクセス制限とは無関係に行うことができます。

許諾請求や別刷りについては[ここ](#)を参照して下さい。質問があれば問い合わせして下さい。

## **Original article 原著論文**

### **Criteria 基準**

*Journal of Physiological Anthropology* は、論文の結論の根拠となる全てのデータセットを読者に公開することを強く推奨します。そのようなデータセットは、公共的に利用可能で適切なリポジトリに預託するか、メインの論文や追加の補助ファイルに提示するかを、強く奨励します。Springer Nature の、「[推奨レポジトリに関する情報 \(information on recommended repositories\)](#)」をご覧ください。そこには、公共リポジトリによるデータのアーカイブに関する様々な学協会による支持が表明されており、学協会によって推奨される公共のリポジトリに投稿することは、義務的なことであると記されています。預託が必要なデータのリスト (および、お勧めリポジトリのリスト) は、「[編集方針のページ \(Editorial Policies Page\)](#)」に示されています。

### **Preparing your manuscript 原稿の準備**

以下の情報は、原稿に必要な項目とそこに記載する内容について詳細に示されています。

原稿には「申告 Declarations」の項目が必須です。ここでは、指定された全ての内容について記載する必要があります (詳しくは、下の「申告」の項目を見て下さい)。

### **Title page タイトルページ**

タイトルページには、以下の内容が必要です：

- 研究計画などを表現した論文のタイトルを示して下さい：

- "A versus B in the treatment of C: a randomized controlled trial", "X is a risk factor for Y: a case control study", "What is the impact of factor X on subject Y: A systematic review"
- or for non-clinical or non-research studies a description of what the article reports
- 全ての著者のフルネーム、所属機関の住所、電子メールアドレス
  - もし、共同研究のグループを著者として記載する必要がある場合には、グループの名称を著者として記して下さい。もし、そのグループの個々の研究者を PubMed の記録の中から検索できるようにしたいならば、その情報は「謝辞」の項目の中に、下記の指示に従って記載して下さい。
- 責任著者を指定して下さい。

### Abstract 抄録

抄録は 350 語を超えてはいけません。略語の使用は最小限にして、文献の引用はしないで下さい。ランダム化比較試験のレポートの場合には、CONSORT の抄録用拡張子に従って下さい。抄録は、次のセクションで構成して下さい：

- **Background:** 研究の背景と目的
- **Methods:** 研究の方法と用いた統計的手法
- **Results:** 主な知見
- **Conclusions:** 短いまとめとその潜在的な重要性
- **Trial registration:** もし、ヒトを被験者とする健康に関する介入試験の結果を示す場合、その試験は適切な登録機関に登録されており、登録番号と登録日をこのセクションに記載しなければなりません。もし、前もって（最初の被験者を採用する前に）登録していなかった場合には、「遡って登録した」と記載しなければなりません。試験登録に関する詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

### Keywords キーワード

論文の主な内容を示す 3 ~ 10 個のキーワードを記載して下さい。

### Background 背景

このセクションには、研究の背景、その目的、これまでの関連する論文の要約、なぜこの研究が必要なのか、あるいは、当該の領域でのこの研究の貢献について、記載して下さい。

## **Methods 方法**

方法には、以下の内容について記載して下さい：

- 研究の目的、計画、設備・環境
- 被験者の特徴あるいは試料の説明
- 全ての研究のプロセス、介入、比較に関する明確な記述。薬品の一般名。研究の中で、登録商標が用いられる場合には、カッコ書きとして商標名を示す。
- 用いた統計的解析の種類。可能ならパワー値の計算 (a power calculation) を含む。

## **Results 結果**

ここでは、本文あるいは図表の中に表記される統計的解析の結果を含む知見を記載して下さい。

## **Discussion 考察**

ここでは、知見の意味についてこれまでの研究結果との関係を議論し、この研究の限界を明確にして下さい。

## **Conclusions 結論**

ここでは、主な結論を明確に示し、この研究の重要性と妥当性を説明して下さい。

## **List of abbreviations 省略形のリスト**

本文の中で省略形の表記を使用した場合には、本文中の初出で定義する同時に、省略形のリストを示して下さい。

## **Declarations 申告**

以下の項目を示さなければなりません：

- Ethics approval and consent to participate 倫理的承認と被験者の同意
- Consent for publication 出版に対する同意
- Availability of data and material データと試料の利用
- Competing interests 利益相反
- Funding 研究助成金
- Authors' contributions 著者の貢献内容
- Acknowledgements 謝辞
- Authors' information (optional) 著者情報 (オプション)

上記の詳細については、以下を参照してください。

あなたの論文で関連しない項目については、項目名を示した上で 'Not applicable' と記載してください。

#### •Ethics approval and consent to participate 倫理的承認と被験者の同意

被験者を使った研究、ヒトのデータや組織を含む研究を報告する論文である場合には、以下を示さなければなりません：

- 倫理的承認と同意についての表明（承認の必要性が除外されている場合も）
- この研究を承認した倫理委員会の名称と、可能ならばその承認番号

動物を用いた研究は、倫理的承認についての表明を示さなければなりません。

詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

もし、動物やヒトのデータ・組織などを用いた研究ではない場合には、このセクションに "Not applicable" と記載して下さい。

#### •Consent for publication 出版に対する同意

あなたの論文に、様々な形態（詳細情報、画像、動画など）での個人情報が含まれている場合、その個人あるいは子供の場合には両親や法的な保護者による出版に対する同意を得なければなりません。症例報告に掲載する全ての資料は、出版に対する同意を得なければなりません。

同意書の様式はあなたの機関のものか、よければ我々が用意したのものでも構いません。投稿時に同意書を提出する必要はありませんが、（出版後を含む）いかなる段階でもそのコピーの提示を求めることがあります。

出版に関する同意に関する詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

いかなる個人情報も含まない場合には、このセクションに "Not applicable" と記載して下さい。

#### •Availability of data and materials データと試料の利用

全ての論文は、「データと試料の利用 Availability of data and materials」についての記述を掲載しなければなりません。データの利用に関する記述では、論文で報告された結果の根拠となるデータにアクセスする方法を示し、可能ならば、研究の中で分析や解析したデータセットの公的な記録へのハイパーリンクを示して下さい。データは、論文に報告された知見を説明し再現できる、最小限のデータセットを意味します。個人のプライバシーが傷つけ



られるときなど、常に研究データの公共的なシェアが可能なわけではありません。そのような場合でも、アクセスの条件を添えて、データの利用について記述しなければなりません。データと試料の利用に関する記述は、以下のフォームのいずれかを利用することができます（複数のデータセットについて必要な場合には、いくつかの文例を組み合わせる利用して下さい）。

- The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS]  
（この研究で取得し解析したデータセットは、「○○○」リポジトリに公開しています。）
- The datasets during and/or analysed during the current study available from the corresponding author on reasonable request.  
（この研究で取得し解析したデータセットは、正当な要求があった場合、責任著者から開示されます。）
- All data generated or analysed during this study are included in this published article [and its supplementary information files].  
（この研究で採取し解析した全てのデータは、本論文（と付録の情報ファイル）の中に含まれています。）
- The datasets generated during and/or analysed during the current study are not publicly available due [REASON WHY DATA ARE NOT PUBLIC] but are available from the corresponding author on reasonable request.  
（この研究で取得し解析したデータセットは、○○○のため、公開しておりません。しかし、正当な要求があった場合には責任著者から開示されます。）
- Data sharing not applicable to this article as no datasets were generated or analysed during the current study.  
（この研究ではデータセットの取得や解析をしていないので、本論文のデータを開示することはできません。）
- The data that support the findings of this study are available from [third party name] but restrictions apply to the availability of these data, which were used under license for the current study, and so are not publicly

available. Data are however available from the authors upon reasonable request and with permission of [third party name].

(この研究の知見を支持するデータは、〇〇〇から取得することができますが、ライセンスが必要なので、一般には利用することはできません。正当な要求があり、〇〇〇の許可が得られた場合には、データを提供します。)

- Not applicable. If your manuscript does not contain any data, please state not applicable in this section.

(適用なし。論文にデータが含まれない場合には、このセクションに not applicable と記載して下さい。)

上記以外の記載例はここをご覧ください。

BMC では、論文中の結論をサポートする全ての公共的に利用可能なデータを引用するよう求めています。データの引用では、(DOI のような) 個別識別子を含み、引用文献リストに完全な情報を掲載して下さい。データセットの引用を引用文献リストに記載する場合には、DateCite が推奨する最小限の情報を、各ジャーナルのスタイルに従って掲載して下さい。DOI を含むデータセットの識別子は、完全な URL にして下さい。例えば、以下の通りです。:

Hao Z, AghaKouchak A, Nakhjiri N, Farahmand A. Global integrated drought monitoring and prediction system (GIDMaPS) data sets. figshare. 2014. <http://dx.doi.org/10.6084/m9.figshare.853801>

申告の「Availability of data and material (データと試料の利用)」に記述する場合:

The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS].<sup>[Reference number]</sup>

#### •Competing interests 利益相反

全ての金銭的および非金銭的な利益相反は、このセクションで宣言しなければなりません。利益相反に関する詳しい説明は、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。あなた又は共著者が利益相反に該当するかどうか不明な場合には、編集オフィスに問い合わせして下さい。

各共著者の利益相反について記述する場合には、各著者のイニシャルを使用して下さい。

もし、利益相反に該当しない場合には、"The authors declare that they have no competing interests" と記述してください。

#### •Funding 研究助成金

論文に掲載した研究に関する全ての助成金について宣言しなければなりません。研究計画、データ採取、解析、データ整理、論文執筆における資金提供団体の役割について宣言しなければなりません。

#### •Authors' contributions 著者の貢献内容

この論文に対する各著者の個別の貢献内容について、このセクションに記述して下さい。オーサーシップのガイダンスと基準については、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

各共著者の貢献内容について記述する場合には、各著者のイニシャルを使用して下さい。例えば、"FC analyzed and interpreted the patient data regarding the hematological disease and the transplant. RH performed the histological examination of the kidney, and was a major contributor in writing the manuscript. All authors read and approved the final manuscript."

#### •Acknowledgements 謝辞

著者としての基準には該当しない協力者に対して謝辞を記して下さい。協力者には、専門的な記述や材料の提供者が含まれます。

著者は、謝辞に記載する全ての協力者から許諾を得て下さい。

謝辞とオーサーシップの基準についての詳しい説明は、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

グループを著者とする場合 (共同研究グループを含む原稿) : もし、共同研究グループの個々のメンバーの名前を PubMed の記録から検索できるようにしたい場合には、共同研究グループ名をタイトルページと投稿システムに記載し、個々の著者の名前を "謝辞 Acknowledgements" セクションの最後の段落に記載して下さい。First Name, Middle initial(s) (optional), Last Name の順に記載して下さい。必要ならば、各著者の所属機関や国の情報を加えることができますが、これらは全ての著者で統一した内容でなければなりません。

論文が最初に PubMed に掲載された時には、著者情報をコードするために追加の時間を要するので、PubMed の記録には個々の著者の名前は表示されないので注意して下さい。

#### •Authors' information 著者情報

このセクションはオプションです。

論文や著者の立場を理解するための読者の助けになるような情報を掲載することができます。著者の資格や最近の職歴、その他の関連した背景などの情報について詳細を記載することができます。著者の名前はイニシャルで表記して下さい。このセクションには、利益相反に関する内容を記述してはいけません。

#### Endnotes 巻末注

巻末注は、肩付き小文字を用いて本文中に指定しなければなりません。また、全ての注釈(対応する肩付き小文字と共に)は、このセクションに示して下さい。このセクションは、箇条書きではなく、文節として記載して下さい。

#### References 引用文献

URL を含む全ての引用は、角括弧を使って順番に番号を振って下さい。本文中で引用された順番で示し、表や図の説明文内での引用がそれに続きます。引用文献番号および引用文献リストのフォーマットは投稿前に完成させて下さい。

BMC 引用文献スタイルの例を以下に示します。引用文献リストは正確にこの例に従ったものにして下さい。

文献の引用に関する著者ガイダンスについて 編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

Web のリンクと URL : 著者本人のウェブサイトへのリンクを含むすべてのウェブのリンクとその URL は、引用文献番号を付して引用文献リストに示して下さい。本文中に URL を記載しないで下さい。サイトのタイトルと URL、サイトにアクセスした日付けを含んだ情報を、次のフォーマットに従って記載して下さい。「The Mouse Tumor Biology Database. <http://tumor.informatics.jax.org/mtbwi/index.do>. Accessed 20 May 2013.」 もし、著者または著者のグループが、明らかにウェブリンクに関係するものであるならば(たとえば、ブログ)、引用文献リストに加えなければなりません。

#### Example reference style: 引用文献リストの例

**Article within a journal** ジャーナルに掲載された論文

Smith JJ. The world of science. Am J Sci. 1999;36:234-5.

**Article within a journal (no page numbers)** ジャーナルに掲載された論文(ページ番号無し)

Rohrmann S, Overvad K, Bueno-de-Mesquita HB, Jakobsen MU, Egeberg R, Tjønneland A, et al. Meat consumption and mortality - results from the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition. BMC Med. 2013;11:63.

**Article within a journal by DOI** DOIで表示されるジャーナルに掲載された論文

Slifka MK, Whitton JL. Clinical implications of dysregulated cytokine production. Dig J Mol Med. 2000; doi:10.1007/s801090000086.

**Article within a journal supplement** ジャーナルの付録に掲載された論文

Frumin AM, Nussbaum J, Esposito M. Functional asplenia: demonstration of splenic activity by bone marrow scan. Blood 1979;59 Suppl 1:26-32.

**Book chapter, or an article within a book** 著書の章、著書に掲載された論文

Wyllie AH, Kerr JFR, Currie AR. Cell death: the significance of apoptosis. In: Bourne GH, Danielli JF, Jeon KW, editors. International review of cytology. London: Academic; 1980. p. 251-306.

**OnlineFirst chapter in a series (without a volume designation but with a DOI)**

Saito Y, Hyuga H. Rate equation approaches to amplification of enantiomeric excess and chiral symmetry breaking. Top Curr Chem. 2007. doi:10.1007/128\_2006\_108.

**Complete book, authored** 著書全体

Blenkinsopp A, Paxton P. Symptoms in the pharmacy: a guide to the management of common illness. 3rd ed. Oxford: Blackwell Science; 1998.

**Online document** オンラインの文書

Doe J. Title of subordinate document. In: The dictionary of substances and their effects. Royal Society of Chemistry. 1999. <http://www.rsc.org/dose/title> of subordinate document. Accessed 15 Jan 1999.

### **Online database オンラインのデータベース**

Healthwise Knowledgebase. US Pharmacopeia, Rockville. 1998.  
<http://www.healthwise.org>. Accessed 21 Sept 1998.

### **Supplementary material/private homepage 補助資料/個人のホームページ**

Doe J. Title of supplementary material. 2000. <http://www.privatehomepage.com>.  
Accessed 22 Feb 2000.

### **University site 大学のサイト**

Doe, J: Title of preprint. <http://www.uni-heidelberg.de/mydata.html> (1999).  
Accessed 25 Dec 1999.

### **FTP site FTP サイト**

Doe, J: Trivial HTTP, RFC2169. <ftp://ftp.isi.edu/in-notes/rfc2169.txt> (1999).  
Accessed 12 Nov 1999.

### **Organization site 機関のサイト**

ISSN International Centre: The ISSN register. <http://www.issn.org> (2006).  
Accessed 20 Feb 2007.

### **Dataset with persistent identifier 永続的識別子のあるデータベース**

Zheng L-Y, Guo X-S, He B, Sun L-J, Peng Y, Dong S-S, et al. Genome data from sweet and grain sorghum (*Sorghum bicolor*). GigaScience Database. 2011.  
<http://dx.doi.org/10.5524/100012>.

### **Figures, tables additional files 図、表、追加ファイル**

図、表、追加ファイルを作成する要領については、[general formatting guidelines](#) を参照して下さい。

## **Commentary コメントリー**

### **Criteria 基準**

短く、焦点を絞った昨今の研究に関する記事を掲載します。これは短い総説とは異なるものです。コメントリーは一般に次の二つの様式があります。 :

- 第一の様式は、最近出版されたか近々に出版予定で、さらなるコメントや説明が保証されるような興味深い論文について討論するものです。このタイプのコメンタリーは、領域全体に関するものではなく、ある研究テーマの特定の論文について討論し、その論文の結果や関連を説明して、その内容の意味を考察するものです。事実に基づいたものであれば、意見を投稿することは歓迎されます。
- 第二の様式は、本質的にジャーナルの編集に関連したもので、ジャーナルのスコープからみた論文の特徴に関する記事を含みます。このタイプのコメンタリーの例としては、研究や処方に対する新しい技術のインパクトについての議論や、ピアレビューや助成金の申請方法の変更およびそれらが研究に与える影響についての議論などがあります。性格上、この第二の様式のコメンタリーはそれほど多く在りません。

最大で10編の文献を引用することができます。

### **Length of article 論文の長さ**

コメンタリーは800~1200語の範囲でなければなりません。

### **Preparing your manuscript 原稿の準備**

以下の情報は、原稿に必要な項目とそこに記載する内容について詳細に示されています。

原稿には「申告 Declarations」の項目が必須です。ここでは、指定された全ての内容について記載されている必要があります（詳しくは、下の「申告」の項目を見て下さい）。

### **Title page タイトルページ**

タイトルページには、以下の内容が必要です。

- 研究計画などを表現した論文のタイトルを示して下さい。
  - "A versus B in the treatment of C: a randomized controlled trial", "X is a risk factor for Y: a case control study", "What is the impact of factor X on subject Y: A systematic review"
  - or for non-clinical or non-research studies: a description of what the article reports
- 全ての著者のフルネーム、所属機関の住所、電子メールアドレス
  - もし、共同研究のグループを著者として記載する必要がある場合には、グループの名称を著者としてリストして下さい。もし、そのグループの個々の研

究者を PubMed の記録の中から検索できるようにしたいならば、その情報は「謝辞」の項目の中に、下記の指示に従って記載して下さい。

- 責任著者を指定して下さい。

#### **Abstract 抄録**

抄録は 350 文字を超えてはいけません。略語の使用は最小限にして、文献の引用はしないで下さい。

#### **Keywords キーワード**

論文の主な内容を示す 3～10 個のキーワードを記載して下さい。

#### **Main text 本文**

論文の本体となる部分です。短く分かりやすい見出しを付けて分割しても構いません。

#### **Conclusions 結論**

ここでは、主な結論を明確に示し、ここで報告した事例、データ、意見、データベース、ソフトウェアの重要性と妥当性を説明して下さい。

#### **List of abbreviations 省略形のリスト**

本文の中で省略形の表記を使用した場合には、本文中の初出で定義する同時に、省略形のリストを示して下さい。

#### **Declarations 申告**

以下の項目を示さなければなりません。

- Ethics approval and consent to participate 倫理的承認と被験者の同意
- Consent for publication 出版に対する同意
- Availability of data and material データと材料の利用
- Competing interests 利益相反
- Funding 研究助成金
- Authors' contributions 著者の貢献内容
- Acknowledgements 謝辞
- Authors' information (optional) 著者情報 (オプション)

上記の詳細については、以下を参照してください。

あなたの論文で関連しない項目については、項目名を示した上で 'Not applicable' と記載してください。



## **Ethics approval and consent to participate 倫理的承認と被験者の同意**

被験者を使った研究、ヒトのデータや組織を含む研究を報告する論文である場合には、以下を示さなければなりません。：

- 倫理的承認と同意についての表明（承認の必要性が除外されている場合も）
- この研究を承認した倫理委員会の名称と、可能ならばその承認番号

動物を用いた研究は、倫理的承認についての表明を示さなければなりません。

詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

もし、動物やヒトのデータ・組織などを用いた研究ではない場合には、このセクションに “Not applicable” と記載して下さい。

## **Consent for publication 出版に対する同意**

あなたの論文に、様々な形態（詳細情報、画像、動画など）での個人情報が含まれている場合、その個人あるいは子供の場合には両親や法的な保護者による出版に対する同意を得なければなりません。また、症例報告に掲載する全ての資料は、出版に対する同意を得なければなりません。

同意書の様式はあなたの機関のものか、よければ我々が用意したもので構いません。投稿時に同意書を提出する必要はありませんが、（出版後を含む）いかなる段階でもそのコピーの提示を求めることがあります。

出版に対する同意に関する詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

いかなる個人情報も含まない場合には、このセクションに “Not applicable” と記載して下さい。

## **Availability of data and materials データと試料の利用**

全ての論文は、「データと試料の利用 Availability of data and materials」についての記述を掲載しなければなりません。データの利用に関する記述では、論文で報告された結果の根拠となるデータにアクセスする方法を示し、可能ならば、研究の中で分析や解析したデータセットの公的な記録へのハイパーリンクを示して下さい。データは、論文に報告された知見を説明し再現できる、最小限のデータセットを意味します。個人のプライバシーが傷つけられるときなど、常に研究データの公共的なシェアが可能なわけではありません。そのような場合でも、アクセスの条件を添えて、データの利用について記述しなければなりません。

データと試料の利用に関する記述は、以下のフォームのいずれかを利用することができます（複数のデータセットについて必要な場合には、いくつかの文例を組み合わせて利用して下さい）。：

- The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS]  
（この研究で取得し解析したデータセットは、「○○○」リポジトリに公開しています。）
- The datasets during and/or analysed during the current study available from the corresponding author on reasonable request.  
（この研究で取得し解析したデータセットは、正当な要求があった場合、責任著者から開示されます。）
- All data generated or analysed during this study are included in this published article [and its supplementary information files].  
（この研究で採取し解析した全てのデータは、本論文（と付録の情報ファイル）の中に含まれています。）
- The datasets generated during and/or analysed during the current study are not publicly available due [REASON WHY DATA ARE NOT PUBLIC] but are available from the corresponding author on reasonable request.  
（この研究で取得し解析したデータセットは、○○○のため、公開しておりません。しかし、正当な要求があった場合には責任著者から開示されます。）
- Data sharing not applicable to this article as no datasets were generated or analysed during the current study.  
（この研究ではデータセットの取得や解析をしていないので、本論文のデータを開示することはできません。）
- The data that support the findings of this study are available from [third party name] but restrictions apply to the availability of these data, which were used under license for the current study, and so are not publicly available. Data are however available from the authors upon reasonable request and with permission of [third party name].

(この研究の知見を支持するデータは、〇〇〇から取得することができますが、ライセンスが必要なので、一般には利用することはできません。正当な要求があり、〇〇〇の許可が得られた場合には、データを提供します。)

- Not applicable. If your manuscript does not contain any data, please state not applicable in this section.

(適用なし。論文にデータが含まれない場合には、このセクションに not applicable と記載して下さい。)

上記以外の記載例はここをご覧ください。

BMC では、論文中の結論をサポートする全ての公共的に利用可能なデータを引用するように求めています。データの引用では、(DOI のような) 個別識別子を含み、引用文献リストに完全な情報を掲載して下さい。データセットの引用を引用文献リストに記載する場合には、DateCite が推奨する最小限の情報を、各ジャーナルのスタイルに従って掲載して下さい。DOI を含むデータセットの識別子は、完全な URL にして下さい。例えば、以下の通りです。:

Hao Z, AghaKouchak A, Nakhjiri N, Farahmand A. Global integrated drought monitoring and prediction system (GIDMaPS) data sets. figshare. 2014. <http://dx.doi.org/10.6084/m9.figshare.853801>

申告の「Availability of data and material (データと試料の利用)」に記述する場合:

The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS].<sup>[Reference number]</sup>

### **Competing interests 利益相反**

全ての金銭的および非金銭的な利益相反は、このセクションで宣言しなければなりません。利益相反に関する詳しい説明は、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。あなた又は共著者が利益相反に該当するかどうか不明な場合には、編集オフィスに問い合わせして下さい。

各共著者の利益相反について記述する場合には、各著者のイニシャルを使用して下さい。

もし、利益相反に該当しない場合には、"The authors declare that they have no competing interests" と記述して下さい。

## **Funding 研究助成金**

論文に掲載した研究に関する全ての助成金について宣言しなければなりません。研究計画、データ採取、解析、データ整理、論文執筆における資金提供団体の役割について宣言しなければなりません。

## **Authors' contributions 著者の貢献内容**

この論文に対する各著者の個別の貢献内容について、このセクションに記述して下さい。オーサーシップのガイダンスと基準については、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

各共著者の貢献内容について記述する場合には、各著者のイニシャルを使用して下さい。例えば、"FC analyzed and interpreted the patient data regarding the hematological disease and the transplant. RH performed the histological examination of the kidney, and was a major contributor in writing the manuscript. All authors read and approved the final manuscript."

## **Acknowledgements 謝辞**

著者としての基準には該当しない協力者に対して謝辞を記して下さい。協力者には、専門的な記述や材料の提供者が含まれます。

著者は、謝辞に記載する全ての協力者から許諾を得て下さい。

謝辞とオーサーシップの基準についての詳しい説明は、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

もし、謝意を伝えるべき相手がいない場合には、このセクションには "Not applicable" と記載して下さい。

グループを著者とする場合 (共同研究グループを含む原稿) : もし、共同研究グループの個々のメンバーの名前を PubMed の記録から検索できるようにしたい場合には、共同研究グループ名をタイトルページと投稿システムに記載し、個々の著者の名前を "謝辞 Acknowledgements" セクションの最後の段落に記載して下さい。First Name, Middle initial(s) (optional), Last Name の順に記載して下さい。必要ならば、各著者の所属機関や国の情報を加えることができますが、これらは全ての著者で統一した内容でなければなりません。

論文が最初に PubMed に掲載された時には、著者情報をコードするために追加の時間を要するので、PubMed の記録には個々の著者の名前は表示されないので注意して下さい。

### **Authors' information 著者情報**

このセクションはオプションです。

論文や著者の立場を理解するための読者の助けになるような情報を掲載することができます。著者の資格や最近の職歴、その他の関連した背景などの情報について詳細を記載することができます。著者の名前はイニシャルで表記して下さい。このセクションには、利益相反に関する内容を記述してはいけません。

### **Endnotes 巻末注**

巻末注は、肩付き小文字を用いて本文中に指定しなければなりません。また、全ての注釈(対応する肩付き小文字と共に)は、このセクションに示して下さい。このセクションは、箇条書きではなく、文節として記載して下さい。

### **References 引用文献**

URL を含む全ての引用は、角括弧を使って順番に番号を振って下さい。本文中で引用された順番で示し、表や図の説明文内での引用がそれに続きます。引用文献番号および引用文献リストのフォーマットは投稿前に完成させて下さい。

BMC 引用文献スタイルの例を以下に示します。引用文献リストは正確にこの例に従ったものにして下さい。

文献の引用に関する著者ガイダンスについて 編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

Web のリンクと URL : 著者本人のウェブサイトへのリンクを含むすべてのウェブのリンクとその URL は、引用文献番号を付して引用文献リストに示して下さい。本文中に URL を記載しないで下さい。サイトのタイトルと URL、サイトにアクセスした日付けを含んだ情報を、次のフォーマットに従って記載して下さい。「The Mouse Tumor Biology Database. <http://tumor.informatics.jax.org/mtbwi/index.do>. Accessed 20 May 2013.」 もし、著者または著者のグループが、明らかにウェブリンクに関係するものであるならば(たとえば、ブログ)、引用文献リストに加えなければなりません。

### **Example reference style: 引用文献リストの例**

**Article within a journal** ジャーナルに掲載された論文

Smith JJ. The world of science. Am J Sci. 1999;36:234-5.

**Article within a journal (no page numbers)** ジャーナルに掲載された論文(ページ番号無し)

Rohrmann S, Overvad K, Bueno-de-Mesquita HB, Jakobsen MU, Egeberg R, Tjønneland A, et al. Meat consumption and mortality - results from the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition. BMC Med. 2013;11:63.

**Article within a journal by DOI** DOIで表示されるジャーナルに掲載された論文

Slifka MK, Whitton JL. Clinical implications of dysregulated cytokine production. Dig J Mol Med. 2000; doi:10.1007/s801090000086.

**Article within a journal supplement** ジャーナルの付録に掲載された論文

Frumin AM, Nussbaum J, Esposito M. Functional asplenia: demonstration of splenic activity by bone marrow scan. Blood 1979;59 Suppl 1:26-32.

**Book chapter, or an article within a book** 著書の章、著書に掲載された論文

Wyllie AH, Kerr JFR, Currie AR. Cell death: the significance of apoptosis. In: Bourne GH, Danielli JF, Jeon KW, editors. International review of cytology. London: Academic; 1980. p. 251-306.

**OnlineFirst chapter in a series (without a volume designation but with a DOI)**

Saito Y, Hyuga H. Rate equation approaches to amplification of enantiomeric excess and chiral symmetry breaking. Top Curr Chem. 2007. doi:10.1007/128\_2006\_108.

**Complete book, authored** 著書全体

Blenkinsopp A, Paxton P. Symptoms in the pharmacy: a guide to the management of common illness. 3rd ed. Oxford: Blackwell Science; 1998.

**Online document** オンラインの文書

Doe J. Title of subordinate document. In: The dictionary of substances and their effects. Royal Society of Chemistry. 1999. <http://www.rsc.org/dose/title> of subordinate document. Accessed 15 Jan 1999.

### **Online database オンラインのデータベース**

Healthwise Knowledgebase. US Pharmacopeia, Rockville. 1998.  
<http://www.healthwise.org>. Accessed 21 Sept 1998.

### **Supplementary material/private homepage 補助資料/個人のホームページ**

Doe J. Title of supplementary material. 2000. <http://www.privatehomepage.com>.  
Accessed 22 Feb 2000.

### **University site 大学のサイト**

Doe, J: Title of preprint. <http://www.uni-heidelberg.de/mydata.html> (1999).  
Accessed 25 Dec 1999.

### **FTP site FTP サイト**

Doe, J: Trivial HTTP, RFC2169. <ftp://ftp.isi.edu/in-notes/rfc2169.txt> (1999).  
Accessed 12 Nov 1999.

### **Organization site 機関のサイト**

ISSN International Centre: The ISSN register. <http://www.issn.org> (2006).  
Accessed 20 Feb 2007.

### **Dataset with persistent identifier 永続的識別子のあるデータベース**

Zheng L-Y, Guo X-S, He B, Sun L-J, Peng Y, Dong S-S, et al. Genome data from sweet and grain sorghum (*Sorghum bicolor*). GigaScience Database. 2011.  
<http://dx.doi.org/10.5524/100012>.

## **Methodology article 研究方法報告**

### **Criteria 基準**

研究方法報告は、新しい実験方法やコンピュータによるデータ処理の新しい方法、テスト、手順などを報告するものです。報告される方法は、完全に新規のものか、既存の方法の更新されたバージョンを提供するものです。報告では、新しく可能になった点について実証可能な進歩を示して下さい。その方法は、良くテストされていることが必要であり、理想的にはその価値を検証するように使用されたものであることが望ましいです。

JPA は、論文の結論の根拠となる全てのデータセットを読者に公開することを強く推奨します。そのようなデータセットは、公共的に利用可能で適切なリポジトリに預託するか、

メインの論文や追加の補助ファイルに提示するかを、強く奨励します。Springer Nature の、「[推奨レポジトリに関する情報 \(information on recommended repositories\)](#)」をご覧ください。そこには、公共リポジトリによるデータのアーカイブに関する様々な学協会による支持が表明されており、学協会によって推奨される公共のリポジトリに投稿することは、義務的なことであると記されています。預託が必要なデータのリスト（および、お勧めレポジトリのリスト）は、「[編集方針のページ \(Editorial Policies Page\)](#)」に示されています。

### **Preparing your manuscript 原稿の準備**

以下の情報は、原稿に必要な項目とそこに記載する内容について詳細に示されています。原稿には「申告 Declarations」の項目が必須です。ここでは、指定された全ての内容について記載されている必要があります（詳しくは、下の「申告」の項目を見て下さい）。

#### **Title page タイトルページ**

タイトルページには、以下の内容が必要です。

- 研究計画などを表現した論文のタイトルを示して下さい。
- 全ての著者のフルネーム、所属機関の住所、電子メールアドレス
  - もし、共同研究のグループを著者として記載する必要がある場合には、グループの名称を著者としてリストして下さい。もし、そのグループの個々の研究者を PubMed の記録の中から検索できるようにしたいならば、その情報は「謝辞」の項目の中に、下記の指示に従って記載して下さい。
- 責任著者を指定して下さい。

#### **Abstract 抄録**

抄録は 350 文字を超えてはいけません。略語の使用は最小限にして、文献の引用はしないで下さい。抄録は、次のセクションで構成して下さい。

- **Background:** 研究の背景と目的
- **Results:** 主な知見
- **Conclusions:** 短いまとめと今後の展望

#### **Keywords キーワード**

#### **Background 背景**



背景のセクションでは、研究の背景、その目的、これまでの関連する論文の要約、なぜこの研究が必要なのか記載して下さい。

### **Results 結果**

ここでは、本文あるいは図表の中に表記される統計的解析の結果を含む、研究の知見を記載して下さい。

### **Discussion 考察**

研究論文では、知見の意味についてこれまでの研究結果との関係の中で議論し、この研究の制限を明確にして下さい。実験プロトコルと方法論に関する論文では、研究の実施に関わる事柄や他のセクションではカバーできない事柄についての考察を書いて下さい。

### **Conclusions 結論**

ここでは、主な結論を明確に示し、この研究の研究分野に対する重要性と妥当性を説明して下さい。

### **Methods (can also be placed after Background) 方法（「背景」の後でも良い）**

方法のセクションでは、以下の内容について記載して下さい：

- 研究の目的、計画、設備・環境
- 被験者の特徴あるいは実験材料の説明
- 介入、比較に関する明確な記述。薬品の一般名。研究の中で、登録商標が用いられる場合には、カッコ書きとして商標名を示す。

用いた統計的解析の種類。適切であれば a power calculation を含む。

### **List of abbreviations 省略形のリスト**

本文の中で省略形の表記を使用した場合には、本文中の初出で定義する同時に、省略形のリストを示して下さい。

### **Declarations 申告**

以下の項目を示さなければなりません。

- Ethics approval and consent to participate 倫理的承認と被験者の同意
- Consent for publication 出版に対する同意
- Availability of data and material データと材料の利用
- Competing interests 利益相反
- Funding 研究助成金

- Authors' contributions 著者の貢献内容
- Acknowledgements 謝辞
- Authors' information (optional) 著者情報 (オプション)

上記の詳細については、以下を参照してください。

あなたの論文に関連しない項目については、項目名を示した上で 'Not applicable' と記載してください。

#### •Ethics approval and consent to participate 倫理的承認と被験者の同意

被験者を使った研究、ヒトのデータや組織を含む研究を報告する論文である場合には、以下を示さなければなりません。

- 倫理的承認と同意についての表明 (承認の必要性が除外されている場合も)
- この研究を承認した倫理委員会の名称と、可能ならばその承認番号

動物を用いた研究は、倫理的承認についての表明を示さなければなりません。

詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

もし、動物やヒトのデータ・組織などを用いた研究ではない場合には、このセクションに "Not applicable" と記載して下さい。

#### •Consent for publication 出版に対する同意

あなたの論文に、様々な形態 (詳細情報、画像、動画など) での個人情報が含まれている場合、その個人あるいは子供の場合には両親や法的な保護者による出版に対する同意を得なければなりません。症例報告に掲載する全ての資料は、出版に対する同意を得なければなりません。

同意書の様式はあなたの機関のものか、よければ我々が用意したもので構いません。投稿時に同意書を提出する必要はありませんが、(出版後を含む) いかなる段階でもそのコピーの提示を求めることがあります。

出版に関する同意に関する詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

いかなる個人情報も含まない場合には、このセクションに "Not applicable" と記載して下さい。

#### •Availability of data and materials データと試料の利用

全ての論文は、「データと試料の利用 Availability of data and materials」についての記述を掲載しなければなりません。データの利用に関する記述では、論文で報告された結果の

根拠となるデータにアクセスする方法を示し、可能ならば、研究の中で分析や解析したデータセットの公的な記録へのハイパーリンクを示して下さい。データは、論文に報告された知見を説明し再現できる、最小限のデータセットを意味します。個人のプライバシーが傷つけられるときなど、常に研究データの公共的なシェアが可能なわけではありません。そのような場合でも、アクセスの条件を添えて、データの利用について記述しなければなりません。データと試料の利用に関する記述は、以下のフォームのいずれかを利用することができます（複数のデータセットについて必要な場合には、いくつかの文例を組み合わせる利用して下さい）。

- The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS]（この研究で取得し解析したデータセットは、「〇〇〇」リポジトリに公開しています。）
- The datasets during and/or analysed during the current study available from the corresponding author on reasonable request.（この研究で取得し解析したデータセットは、正当な要求があった場合、責任著者から開示されます。）
- All data generated or analysed during this study are included in this published article [and its supplementary information files].（この研究で採取し解析した全てのデータは、本論文（と付録の情報ファイル）の中に含まれています。）
- The datasets generated during and/or analysed during the current study are not publicly available due [REASON WHY DATA ARE NOT PUBLIC] but are available from the corresponding author on reasonable request.（この研究で取得し解析したデータセットは、〇〇〇のため、公開しておりません。しかし、正当な要求があった場合には責任著者から開示されます。）
- Data sharing not applicable to this article as no datasets were generated or analysed during the current study.（この研究ではデータセットの取得や解析をしていないので、本論文のデータを開示することはできません。）

- The data that support the findings of this study are available from [third party name] but restrictions apply to the availability of these data, which were used under license for the current study, and so are not publicly available. Data are however available from the authors upon reasonable request and with permission of [third party name].

(この研究の知見を支持するデータは、〇〇〇で取得することができますが、ライセンスが必要なので、一般には利用することはできません。正当な要求があり、〇〇〇の許可が得られた場合には、データを提供します。)

- Not applicable. If your manuscript does not contain any data, please state not applicable in this section.

(適用なし。論文にデータが含まれない場合には、このセクションに not applicable と記載して下さい。)

上記以外の記載例はここをご覧ください。

BMC では、論文中の結論をサポートする全ての公共的に利用可能なデータを引用するよう求めています。データの引用では、(DOI のような) 個別識別子を含み、引用文献リストに完全な情報を掲載して下さい。データセットの引用を引用文献リストに記載する場合には、DateCite が推奨する最小限の情報を、各ジャーナルのスタイルに従って掲載して下さい。DOI を含むデータセットの識別子は、完全な URL にして下さい。例えば、以下の通りです。:

Hao Z, AghaKouchak A, Nakhjiri N, Farahmand A. Global integrated drought monitoring and prediction system (GIDMaPS) data sets. figshare. 2014. <http://dx.doi.org/10.6084/m9.figshare.853801>

申告の「Availability of data and material (データと試料の利用)」に記述する場合:

The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS].<sup>[Reference number]</sup>

#### •Competing interests 利益相反

全ての金銭的および非金銭的な利益相反は、このセクションで宣言しなければなりません。

利益相反に関する詳しい説明は、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。  
あなた又は共著者が利益相反に該当するかどうか不明な場合には、編集オフィスに問い合わせして下さい。

各共著者の利益相反について記述する場合には、各著者のイニシャルを使用して下さい。  
もし、利益相反に該当しない場合には、"The authors declare that they have no competing interests" と記述してください。

#### •Funding 研究助成金

論文に掲載した研究に関する全ての資金源について宣言しなければなりません。研究計画、データ採取、解析、データ整理、論文執筆における資金提供団体の役割について宣言しなければなりません。

#### •Authors' contributions 著者の貢献内容

この論文に対する各著者の個別の貢献内容について、このセクションに記述して下さい。オーサーシップのガイダンスと基準については、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

各共著者の貢献内容について記述する場合には、各著者のイニシャルを使用して下さい。例えば、"FC analyzed and interpreted the patient data regarding the hematological disease and the transplant. RH performed the histological examination of the kidney, and was a major contributor in writing the manuscript. All authors read and approved the final manuscript."

#### •Acknowledgements 謝辞

著者としての基準には該当しない協力者に対して謝辞を記して下さい。協力者には、専門的な記述や材料の提供者が含まれます。

著者は、謝辞に記載する全ての協力者から許諾を得て下さい。

謝辞とオーサーシップの基準についての詳しい説明は、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

もし、謝意を示す相手がない場合には、「Not applicable」と書いて下さい。

グループを著者とする場合 (共同研究グループを含む原稿) :もし、共同研究グループの個々のメンバーの名前を PubMed の記録から検索できるようにしたい場合には、共同研究グループ名をタイトルページと投稿システムに記載し、個々の著者の名前を“謝辞

Acknowledgements” セクションの最後の段落に記載して下さい。First Name, Middle initial(s) (optional), Last Name の順に記載して下さい。必要ならば、各著者の所属機関や国の情報を加えることができますが、これは全ての著者で統一した内容でなければなりません。

論文が最初に PubMed に掲載された時には、著者情報をコードするために追加の時間を要するので、PubMed の記録には個々の著者の名前は表示されないので注意して下さい。

#### •Authors' information 著者情報

このセクションはオプションです。

論文や著者の立場を理解するために読者の助けになるような情報を掲載することができます。著者の資格や最近の職歴、その他の関連した背景などの情報について詳細を記載することができます。著者の名前はイニシャルで表記して下さい。このセクションには、利益相反に関する内容を記述してはいけません。

#### Endnotes 巻末注

巻末注は、肩付き小文字を用いて本文中に指定しなければなりません。また、全ての注釈(対応する肩付き小文字と共に)は、このセクションに示して下さい。このセクションは、箇条書きではなく、文節として記載して下さい。

#### References 引用文献

URL を含む全ての引用は、角括弧を使って順番に番号をふる。本文中で引用された順番で示し、表や図の説明文内での引用がそれに続きます。引用文献番号および引用文献リストのフォーマットは投稿前に完成させて下さい。

BMC スタイルの例を以下に示します。引用文献リストは正確にこの例に従ったものにして下さい。

文献の引用に関する著者ガイダンスについて 編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

Web のリンクと URL : 著者本人のウェブサイトへのリンクを含むすべてのウェブのリンクとその URL は、引用文献番号を付して引用文献リストに示して下さい。本文中に URL を記載しないで下さい。サイトのタイトルと URL、サイトにアクセスした日付けを含んだ情報を、次のフォーマットに従って記載して下さい。「The Mouse Tumor Biology Database. <http://tumor.informatics.jax.org/mtbwi/index.do>. Accessed 20 May 2013.」 もし、

著者または著者のグループが、明確にウェブのリンクに関係するものであるならば（たとえば、ブログ）、引用文献リストに加えなければなりません。

**Example reference style 引用文献リストの例 :**

***Article within a journal* ジャーナルに掲載された論文**

Smith JJ. The world of science. Am J Sci. 1999;36:234-5.

***Article within a journal (no page numbers)* ジャーナルに掲載された論文(ページ番号無し)**

Rohrmann S, Overvad K, Bueno-de-Mesquita HB, Jakobsen MU, Egeberg R, Tjønneland A, et al. Meat consumption and mortality - results from the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition. BMC Med. 2013;11:63.

***Article within a journal by DOI* DOIで表示されるジャーナルに掲載された論文**

Slifka MK, Whitton JL. Clinical implications of dysregulated cytokine production. Dig J Mol Med. 2000; doi:10.1007/s801090000086.

***Article within a journal supplement* ジャーナルの付録に掲載された論文**

Frumin AM, Nussbaum J, Esposito M. Functional asplenia: demonstration of splenic activity by bone marrow scan. Blood 1979;59 Suppl 1:26-32.

***Book chapter, or an article within a book* 著書の章、著書に掲載された論文**

Wyllie AH, Kerr JFR, Currie AR. Cell death: the significance of apoptosis. In: Bourne GH, Danielli JF, Jeon KW, editors. International review of cytology. London: Academic; 1980. p. 251-306.

OnlineFirst chapter in a series (without a volume designation but with a DOI)

Saito Y, Hyuga H. Rate equation approaches to amplification of enantiomeric excess and chiral symmetry breaking. Top Curr Chem. 2007. doi:10.1007/128\_2006\_108.

***Complete book, authored* 著書全体**

Blenkinsopp A, Paxton P. Symptoms in the pharmacy: a guide to the management of common illness. 3rd ed. Oxford: Blackwell Science; 1998.

***Online document* オンラインの文書**

Doe J. Title of subordinate document. In: The dictionary of substances and their

effects. Royal Society of Chemistry. 1999. <http://www.rsc.org/dose/title> of subordinate document. Accessed 15 Jan 1999.

**Online database オンラインのデータベース**

Healthwise Knowledgebase. US Pharmacopeia, Rockville. 1998. <http://www.healthwise.org>. Accessed 21 Sept 1998.

**Supplementary material/private homepage 補助資料/個人のホームページ**

Doe J. Title of supplementary material. 2000. <http://www.privatehomepage.com>. Accessed 22 Feb 2000.

**University site 大学のサイト**

Doe, J: Title of preprint. <http://www.uni-heidelberg.de/mydata.html> (1999). Accessed 25 Dec 1999.

**FTP site FTP サイト**

Doe, J: Trivial HTTP, RFC2169. <ftp://ftp.isi.edu/in-notes/rfc2169.txt> (1999). Accessed 12 Nov 1999.

**Organization site 機関のサイト**

ISSN International Centre: The ISSN register. <http://www.issn.org> (2006). Accessed 20 Feb 2007.

**Dataset with persistent identifier 永続的識別子のあるデータベース**

Zheng L-Y, Guo X-S, He B, Sun L-J, Peng Y, Dong S-S, et al. Genome data from sweet and grain sorghum (*Sorghum bicolor*). GigaScience Database. 2011. <http://dx.doi.org/10.5524/100012>.

**Figures, tables additional files 図、表、追加ファイル**

図、表、追加ファイルを作成する要領については、general formatting guidelines を参照して下さい。

**Review 総説**

**Criteria 基準**



総説は、JPA のスコープの範囲内で、特定の研究領域における近年の研究の成果をまとめたものです。

総説の目的は、成熟した研究テーマに関する体系的で実体のある研究成果、特定の分野の進捗の評価、そこに現われた新しい技術の批判的な評価を提供することです。

### **Preparing your manuscript 原稿の準備**

以下の情報は、原稿に必要な項目とそこに記載する内容について詳細に示されています。

原稿には「宣言 Declarations」の項目が必須です。そこでは、指定された全ての内容について記載する必要があります（詳しくは、下の「宣言」の項目を見て下さい）。

### **Title page タイトルページ**

タイトルページには、以下の内容が必要です。

- 研究計画などを表現した論文のタイトルを示して下さい。
  - "A versus B in the treatment of C: a randomized controlled trial", "X is a risk factor for Y: a case control study", "What is the impact of factor X on subject Y: A systematic review"
  - or for non-clinical or non-research studies a description of what the article reports
- 全ての著者のフルネーム、所属機関の住所、電子メールアドレス
  - もし、共同研究のグループを著者として記載する必要がある場合には、グループの名称を著者としてリストして下さい。もし、そのグループの個々の研究者を PubMed の記録の中から検索できるようにしたいならば、その情報は「謝辞」の項目の中に、下記の指示に従って記載して下さい。
- 責任著者を指定して下さい。

### **Abstract 要約**

要約は 350 語以内で、背景、本文、簡潔な結論で構成して下さい。略号の使用は最小限にして、文献は引用しないで下さい。

### **Keywords キーワード**

論文の主な内容を示す 3～10 個のキーワードを記載して下さい。

### **Background 背景**

背景のセクションでは、論文の背景、その目的、これまでの関連する論文調査の概要、考察する内容について説明して下さい。

### **Main text 本文**

原稿の本文です。完結で分かりやすい見出しを付けて分割しても構いません。

### **Conclusions 結論**

ここでは、主な結論を明確に示し、この研究の重要性と妥当性を説明して下さい。

### **List of abbreviations 省略形のリスト**

本文の中で省略形の表記を使用した場合には、本文中の初出で定義する同時に、省略形のリストを示して下さい。

### **Declarations 申告**

以下の項目を示さなければなりません。

- Ethics approval and consent to participate 倫理的承認と被験者の同意
- Consent for publication 出版に対する同意
- Availability of data and material データと材料の利用
- Competing interests 利益相反
- Funding 研究助成金
- Authors' contributions 著者の貢献内容
- Acknowledgements 謝辞
- Authors' information (optional) 著者情報（オプション）

上記の詳細については、以下を参照してください。

あなたの論文で関連しない項目については、項目名を示した上で 'Not applicable' と記載してください。

### **•Ethics approval and consent to participate 倫理的承認と被験者の同意**

被験者を使った研究、ヒトのデータや組織を含む研究を報告する論文である場合には、以下を示さなければなりません。：

- 倫理的承認と同意についての表明（承認の必要性が除外されている場合も）
- この研究を承認した倫理委員会の名称と、可能ならばその承認番号

動物を用いた研究は、倫理的承認についての表明を示さなければなりません。

詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

もし、動物やヒトのデータ・組織などを用いた研究ではない場合には、このセクションに “Not applicable” と記載して下さい。

#### •Consent for publication 出版に対する同意

あなたの論文に、様々な形態（詳細情報、画像、動画など）での個人情報が含まれている場合、その個人あるいは子供の場合には両親や法的な保護者による出版に対する同意を得なければなりません。症例報告に掲載する全ての資料は、出版に対する同意を得なければなりません。

同意書の様式はあなたの機関のものか、よければ我々が用意したもので構いません。投稿時に同意書を提出する必要はありませんが、（出版後を含む）いかなる段階でもそのコピーの提示を求めることがあります。

出版に関する同意に関する詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

いかなる個人情報も含まない場合には、このセクションに “Not applicable” と記載して下さい。

#### •Availability of data and materials データと試料の利用

全ての論文は、「データと試料の利用 Availability of data and materials」についての記述を掲載しなければなりません。データの利用に関する記述では、論文で報告された結果の根拠となるデータにアクセスする方法を示し、可能ならば、研究の中で分析や解析したデータセットの公的な記録へのハイパーリンクを示して下さい。データは、論文に報告された知見を説明し再現できる、最小限のデータセットを意味します。個人のプライバシーが傷つけられるときなど、常に研究データの公共的なシェアが可能なわけではありません。そのような場合でも、アクセスの条件を添えて、データの利用について記述しなければなりません。データと試料の利用に関する記述は、以下のフォームのいずれかを利用することができます（複数のデータセットについて必要な場合には、いくつかの文例を組み合わせる利用して下さい）。

- The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS]（この研究で取得し解析したデータセットは、「〇〇〇」リポジトリに公開しています。）

- The datasets during and/or analysed during the current study available from the corresponding author on reasonable request.  
(この研究で取得し解析したデータセットは、正当な要求があった場合、責任著者から開示されます。)
- All data generated or analysed during this study are included in this published article [and its supplementary information files].  
(この研究で採取し解析した全てのデータは、本論文（と付録の情報ファイル）の中に含まれています。)
- The datasets generated during and/or analysed during the current study are not publicly available due [REASON WHY DATA ARE NOT PUBLIC] but are available from the corresponding author on reasonable request.  
(この研究で取得し解析したデータセットは、〇〇〇のため、公開しておりません。しかし、正当な要求があった場合には責任著者から開示されます。)
- Data sharing not applicable to this article as no datasets were generated or analysed during the current study.  
(この研究ではデータセットの取得や解析をしていないので、本論文のデータを開示することはできません。)
- The data that support the findings of this study are available from [third party name] but restrictions apply to the availability of these data, which were used under license for the current study, and so are not publicly available. Data are however available from the authors upon reasonable request and with permission of [third party name].  
(この研究の知見を支持するデータは、〇〇〇で取得することができますが、ライセンスが必要なため、一般には利用することはできません。正当な要求があり、〇〇〇の許可が得られた場合には、データを提供します。)
- Not applicable. If your manuscript does not contain any data, please state not applicable in this section.  
(適用なし。論文にデータが含まれない場合には、このセクションに not applicable と記載して下さい。)

More examples of template data availability statements, which include examples  
上記以外の記載例はここをご覧ください。

BMC では、論文中の結論をサポートする全ての公共的に利用可能なデータを引用するよう求めています。データの引用では、(DOI のような) 個別識別子を含み、引用文献リストに完全な情報を掲載して下さい。データセットの引用を引用文献リストに記載する場合には、DateCite が推奨する最小限の情報を、各ジャーナルのスタイルに従って掲載して下さい。DOI を含むデータセットの識別子は、完全な URL にして下さい。例えば、以下の通りです。 :

Hao Z, AghaKouchak A, Nakhjiri N, Farahmand A. Global integrated drought monitoring and prediction system (GIDMaPS) data sets. figshare. 2014. <http://dx.doi.org/10.6084/m9.figshare.853801>

申告の「Availability of data and material (データと試料の利用)」に記述する場合 :

The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS].<sup>[Reference number]</sup>

#### •Competing interests 利益相反

全ての金銭的および非金銭的な利益相反は、このセクションで宣言しなければなりません。利益相反に関する詳しい説明は、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。あなた又は共著者が利益相反に該当するかどうか不明な場合には、編集オフィスに問い合わせして下さい。

各共著者の利益相反について記述する場合には、各著者のイニシャルを使用して下さい。

もし、利益相反に該当しない場合には、"The authors declare that they have no competing interests" と記述してください。

#### •Funding 研究助成金

論文に掲載した研究に関する全ての資金源について宣言しなければなりません。研究計画、データ採取、解析、データ整理、論文執筆など、研究資金をどのような内容に使用したのか、資金源の役割について宣言しなければなりません。

#### •Authors' contributions 著者の貢献内容

この論文に対する各著者の個別の貢献内容について、このセクションに記述して下さい。オーサーシップのガイダンスと基準については、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

各共著者の貢献内容について記述する場合には、各著者のイニシャルを使用して下さい。例えば、"FC analyzed and interpreted the patient data regarding the hematological disease and the transplant. RH performed the histological examination of the kidney, and was a major contributor in writing the manuscript. All authors read and approved the final manuscript." (FCは血液学的疾病と移植に関する患者のデータを解析し、解釈した。RHは、腎臓の組織学的検討を行い、論文の主要な執筆者である。全ての著者は、最終論文原稿を読んで確認した。)

#### •Acknowledgements 謝辞

著者としての基準には該当しない協力者に対して謝辞を記して下さい。協力者には、専門的な記述や試料の提供者が含まれます。

著者は、謝辞に記載する全ての協力者から許諾を得て下さい。

謝辞とオーサーシップの基準についての詳しい説明は、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

もし、謝意を示す相手がない場合には、"Not applicable"と書いて下さい。

グループとしての著者 (共同研究グループを含む原稿) : もし、共同研究グループの個々のメンバーの名前を PubMed の記録から検索できるようにしたい場合には、共同研究グループ名をタイトルページと投稿システムに記載し、個々の著者の名前を"謝辞 Acknowledgements" セクションの最後の段落に記載して下さい。First Name, Middle initial(s) (optional), Last Name の順に記載して下さい。必要ならば、各著者の所属機関や国の情報を加えることができますが、これは全ての著者で統一した内容でなければなりません。

論文が最初に PubMed に掲載された時には、著者情報をコードするために追加の時間を要するので、PubMed の記録には個々の著者の名前は表示されないのに注意して下さい。

#### •Authors' information 著者情報

論文や著者の立場を理解するために読者の助けになるような情報を掲載することができます。著者の資格や最近の職歴、その他の関連した背景などの情報について詳細を記載するこ

とができます。著者の名前はイニシャルで表記して下さい。このセクションには、利益相反に関する内容を記述してはいけません。

### **Endnotes 巻末の注意書き**

注意書きは、肩付き小文字を用いて本文中に指定しなければなりません。また、全ての注意書（応する肩付き小文字と共に）は、このセクションに示して下さい。このセクションは、箇条書きではなく、文節として記載して下さい。

### **References 引用文献**

URL を含む全ての引用は、角括弧を使って順番に番号をふる。本文中で引用された順番で示し、表や凡例・説明文での引用がそれに続きます。引用番号は最終的なものとして、引用文献リストは投稿前に完成させて下さい。

BMC スタイルの例を以下に示します。引用文献リストは正確にこの例に従ったものにして下さい。

良い文献の引用に関する著者ガイダンスについて 編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

Web のリンクと URL : 著者本人のウェブサイトへのリンクを含むすべてのウェブのリンクとその URL は、引用文献番号を付して引用文献リストに示して下さい。本文中に URL を記載しないで下さい。サイトのタイトルと URL、サイトにアクセスした日付けを含んだ情報を、次のフォーマットに従って記載して下さい。「The Mouse Tumor Biology Database. <http://tumor.informatics.jax.org/mtbwi/index.do>. Accessed 20 May 2013.」もし、著者または著者のグループが、明らかにウェブリンクに関係するものであるならば（たとえば、ブログ）、引用文献リストに加えなければなりません。

### **Example reference style 引用文献リストの例 :**

#### ***Article within a journal* ジャーナルに掲載された論文**

Smith JJ. The world of science. Am J Sci. 1999;36:234-5.

#### ***Article within a journal (no page numbers)* ジャーナルに掲載された論文(ページ番号無し)**

Rohrmann S, Overvad K, Bueno-de-Mesquita HB, Jakobsen MU, Egeberg R, Tjønneland A, et al. Meat consumption and mortality - results from the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition. BMC Med. 2013;11:63.

**Article within a journal by DOI** DOIで表示されるジャーナルに掲載された論文

Slifka MK, Whitton JL. Clinical implications of dysregulated cytokine production. *Dig J Mol Med*. 2000; doi:10.1007/s801090000086.

**Article within a journal supplement** ジャーナルの付録に掲載された論文

Frumin AM, Nussbaum J, Esposito M. Functional asplenia: demonstration of splenic activity by bone marrow scan. *Blood* 1979;59 Suppl 1:26-32.

**Book chapter, or an article within a book** 著書の章、著書に掲載された論文

Wyllie AH, Kerr JFR, Currie AR. Cell death: the significance of apoptosis. In: Bourne GH, Danielli JF, Jeon KW, editors. *International review of cytology*. London: Academic; 1980. p. 251-306.

OnlineFirst chapter in a series (without a volume designation but with a DOI)

Saito Y, Hyuga H. Rate equation approaches to amplification of enantiomeric excess and chiral symmetry breaking. *Top Curr Chem*. 2007. doi:10.1007/128\_2006\_108.

**Complete book, authored** 著書全体

Blenkinsopp A, Paxton P. *Symptoms in the pharmacy: a guide to the management of common illness*. 3rd ed. Oxford: Blackwell Science; 1998.

**Online document** オンラインの文書

Doe J. Title of subordinate document. In: *The dictionary of substances and their effects*. Royal Society of Chemistry. 1999. [http://www.rsc.org/dose/title of subordinate document](http://www.rsc.org/dose/title_of_subordinate_document). Accessed 15 Jan 1999.

**Online database** オンラインのデータベース

Healthwise Knowledgebase. US Pharmacopeia, Rockville. 1998. <http://www.healthwise.org>. Accessed 21 Sept 1998.

**Supplementary material/private homepage** 補助資料/個人のホームページ

Doe J. Title of supplementary material. 2000. <http://www.privatehomepage.com>. Accessed 22 Feb 2000.

**University site** 大学のサイト

Doe, J: Title of preprint. <http://www.uni-heidelberg.de/mydata.html> (1999). Accessed 25 Dec 1999.



### **FTP site FTP サイト**

Doe, J: Trivial HTTP, RFC2169. <ftp://ftp.isi.edu/in-notes/rfc2169.txt> (1999).  
Accessed 12 Nov 1999.

### **Organization site 機関のサイト**

ISSN International Centre: The ISSN register. <http://www.issn.org> (2006).  
Accessed 20 Feb 2007.

### **Dataset with persistent identifier 永続的識別子のあるデータベース**

Zheng L-Y, Guo X-S, He B, Sun L-J, Peng Y, Dong S-S, et al. Genome data from sweet and grain sorghum (*Sorghum bicolor*). GigaScience Database. 2011.  
<http://dx.doi.org/10.5524/100012>.

### **Figures, tables additional files 図、表、追加ファイル**

図、表、追加ファイルを作成する要領については、[general formatting guidelines](#) を参照して下さい。

## **Short report 短報**

### **Criteria 基準**

短報は、過去に論文として発表された研究を拡張したような研究の発表に適しています。否定的な結果も含めて、追加の統制下での報告、異なる実験環境での確認の結果等が含まれます。著者は、論文として発表されていなくても参考にしたあらゆる研究に謝意を示さねばなりません。

### **Length of article 原稿の長さ**

短報は 1000~1500 語で、引用文献は 25 件以内でなければなりません。

JPA は、論文の結論の根拠となる全てのデータセットを読者に公開することを強く推奨します。そのようなデータセットは、公共的に利用可能で適切なリポジトリに預託するか、メインの論文や追加の補助ファイルに提示するかを、強く奨励します。Springer Nature の、「[推奨レポジトリに関する情報 \(information on recommended repositories\)](#)」をご覧ください。そこには、公共リポジトリによるデータのアーカイブに関する様々な学協会による

支持が表明されており、学協会によって推奨される公共のリポジトリに投稿することは、義務的なことであると記されています。預託が必要なデータのリスト（および、お勧めリポジトリのリスト）は、「編集方針のページ（[Editorial Policies Page](#)）」に示されています。

## **Preparing your manuscript 原稿の準備**

以下の情報は、論文の原稿に必要な項目の見出しと、そこに記載する内容について詳細に示されています。

原稿には「申告 Declarations」の項目が必須です。そこでは、指定された全ての内容について記載する必要があります（詳しくは、下の「申告」の項目を見て下さい）。

### **Title page タイトルページ**

タイトルページには、以下の内容が必要です：

- 研究計画などを表現した論文のタイトルを示して下さい。
  - "A versus B in the treatment of C: a randomized controlled trial", "X is a risk factor for Y: a case control study", "What is the impact of factor X on subject Y: A systematic review"
  - or for non-clinical or non-research studies a description of what the article reports
- 全ての著者のフルネーム、所属機関の住所、電子メールアドレス
  - もし、共同研究のグループを著者として記載する必要がある場合には、グループ名を著者としてリストして下さい。もし、そのグループの個々の研究者を PubMed の記録の中から検索できるようにしたいならば、その情報は「謝辞」の項目の中に、下記の指示に従って記載して下さい。
- 責任著者を指定して下さい。

### **Abstract 要約**

要約は 350 語以内で、背景、本文、簡潔な結論で構成して下さい。略号の使用は最小限とし、文献は引用しないで下さい。

### **Keywords キーワード**

論文の主な内容を示す 3 ～ 10 個のキーワードを記載して下さい。

### **Background 背景**

論文の背景、目的、これまでの関連する論文調査の概要、考察の内容について説明して下さい。

### **Main text 本文**

原稿の本文です。簡潔で分かりやすい見出しを付けて分割しても構いません。

### **Conclusions 結論**

主な結論を明確に示して下さい。また、研究分野に対する妥当性または重要性を説明して下さい。

### **List of abbreviations 省略形のリスト**

本文の中で省略形の表記を使用した場合には、本文中の初出で定義する同時に、省略形のリストを示して下さい。

### **Declarations 申告**

以下の項目を示さなければなりません。

- Ethics approval and consent to participate 倫理的承認と被験者の同意
- Consent for publication 出版に対する同意
- Availability of data and material データと材料の利用
- Competing interests 利益相反
- Funding 資金
- Authors' contributions 著者の貢献内容
- Acknowledgements 謝辞
- Authors' information (optional) 著者情報（オプション）

上記の詳細については、以下を参照してください。

あなたの論文で関連しない項目については、項目名を示した上で 'Not applicable' と記載してください。

#### **•Ethics approval and consent to participate 倫理的承認と被験者の同意**

被験者を使った研究、ヒトのデータや組織を含む研究を報告する論文である場合には、以下を示さなければなりません。：

- 倫理的承認と同意についての表明（承認の必要性が除外されている場合も）
- この研究を承認した倫理委員会の名称と、可能ならばその承認番号

動物を用いた研究は、倫理的承認についての表明を示さなければなりません。

詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

もし、動物やヒトのデータ・組織などを用いた研究ではない場合には、このセクションに “Not applicable” と記載して下さい。

#### •Consent for publication 出版に対する同意

あなたの論文に、様々な形態（詳細情報、画像、動画など）での個人情報が含まれている場合、その個人あるいは子供の場合には両親や法的な保護者による出版に対する同意を得なければなりません。症例報告に掲載する全ての資料は、出版に対する同意を得なければなりません。

同意書の様式はあなたの機関のものか、よければ我々が用意したもので構いません。投稿時に同意書を提出する必要はありませんが、（出版後を含む）いかなる段階でもそのコピーの提示を求めることがあります。

出版に関する同意に関する詳細な情報は editorial policies を参照して下さい。

いかなる個人情報も含まない場合には、このセクションに “Not applicable” と記載して下さい。

#### •Availability of data and materials データと試料の利用

全ての論文は、「データと試料の利用 Availability of data and materials」についての記述を掲載しなければなりません。データの利用に関する記述では、論文で報告された結果の根拠となるデータにアクセスする方法を示し、可能ならば、研究の中で分析や解析したデータセットの公的な記録へのハイパーリンクを示して下さい。データは、論文に報告された知見を説明し再現できる、最小限のデータセットを意味します。個人のプライバシーが傷つけられるときなど、常に研究データの公共的なシェアが可能なわけではありません。そのような場合でも、アクセスの条件を添えて、データの利用について記述しなければなりません。データと試料の利用に関する記述は、以下のフォームのいずれかを利用することができます（複数のデータセットについて必要な場合には、いくつかの文例を組み合わせる利用して下さい）。：

- The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS]（この研究で取得し解析したデータセットは、「〇〇〇」リポジトリに公開しています。）

- The datasets during and/or analysed during the current study available from the corresponding author on reasonable request.  
(この研究で取得し解析したデータセットは、正当な要求があった場合、責任著者から開示されます。)
- All data generated or analysed during this study are included in this published article [and its supplementary information files].  
(この研究で採取し解析した全てのデータは、本論文（と付録の情報ファイル）の中に含まれています。)
- The datasets generated during and/or analysed during the current study are not publicly available due [REASON WHY DATA ARE NOT PUBLIC] but are available from the corresponding author on reasonable request.  
(この研究で取得し解析したデータセットは、〇〇〇のため、公開しておりません。しかし、正当な要求があった場合には責任著者から開示されます。)
- Data sharing not applicable to this article as no datasets were generated or analysed during the current study.  
(この研究ではデータセットの取得や解析をしていないので、本論文のデータを開示することはできません。)
- The data that support the findings of this study are available from [third party name] but restrictions apply to the availability of these data, which were used under license for the current study, and so are not publicly available. Data are however available from the authors upon reasonable request and with permission of [third party name].  
(この研究の知見を支持するデータは、〇〇〇で取得することができますが、ライセンスが必要なため、一般には利用することはできません。正当な要求があり、〇〇〇の許可が得られた場合には、データを提供します。)
- Not applicable. If your manuscript does not contain any data, please state not applicable in this section.  
(適用なし。論文にデータが含まれない場合には、このセクションに not applicable と記載して下さい。)

上記以外の記載例はここをご覧ください。

BMC では、論文中の結論をサポートする全ての公共的に利用可能なデータを引用するように求めています。データの引用では、(DOI のような) 個別識別子を含み、引用文献リストに完全な情報を掲載して下さい。データセットの引用を引用文献リストに記載する場合には、DateCite が推奨する最小限の情報を、各ジャーナルのスタイルに従って掲載して下さい。DOI を含むデータセットの識別子は、完全な URL にして下さい。例えば、以下の通りです。 :

Hao Z, AghaKouchak A, Nakhjiri N, Farahmand A. Global integrated drought monitoring and prediction system (GIDMaPS) data sets. figshare. 2014. <http://dx.doi.org/10.6084/m9.figshare.853801>

申告の「Availability of data and material (データと試料の利用)」に記述する場合 :

The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS].<sup>[Reference number]</sup>

#### •Competing interests 利益相反

全ての金銭的および非金銭的な利益相反は、このセクションで宣言しなければなりません。利益相反に関する詳しい説明は、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。あなた又は共著者が利益相反に該当するかどうか不明な場合には、編集オフィスに問い合わせして下さい。

各共著者の利益相反について記述する場合には、各著者のイニシャルを使用して下さい。

もし、利益相反に該当しない場合には、"The authors declare that they have no competing interests" と記述してください。

#### Funding 研究助成金

論文に掲載した研究に関する全ての資金源について宣言しなければなりません。研究計画、データ採取、解析、データ整理、論文執筆など、研究資金をどのような内容に使用したのか、資金源の役割について宣言しなければなりません。

#### •Authors' contributions 著者の貢献内容

この論文に対する各著者の個別の貢献内容について、このセクションに記述して下さい。オーサーシップのガイダンスと基準については、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

各共著者の貢献内容について記述する場合には、各著者のイニシャルを使用して下さい。例えば、「FC は血液学的疾病と移植に関する患者のデータを解析し、解釈した。RH は、腎臓の組織学的検討を行い、論文の主要な執筆者である。全ての著者は、最終論文原稿を読んで確認した。」

#### •Acknowledgements 謝辞

著者としての基準には該当しない協力者に対して謝辞を記して下さい。協力者には、専門的な記述や材料の提供者が含まれます。

著者は、謝辞に記載する全ての協力者から許諾を得て下さい。

謝辞とオーサーシップの基準についての詳しい説明は、編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

もし、謝意を示す相手がない場合には、「Not applicable」と書いて下さい。

グループとしての著者 (共同研究グループを含む原稿) : もし、共同研究グループの個々のメンバーの名前を PubMed の記録から検索できるようにしたい場合には、共同研究グループ名をタイトルページと投稿システムに記載し、個々の著者の名前を“謝辞 Acknowledgements” セクションの最後の段落に記載して下さい。First Name, Middle initial(s) (optional), Last Name の順に記載して下さい。必要ならば、各著者の所属機関や国の情報を加えることができますが、これは全ての著者で統一した内容でなければなりません。

論文が最初に PubMed に掲載された時には、著者情報をコードするために追加の時間を要するので、PubMed の記録には個々の著者の名前は表示されないのに注意して下さい。

#### •Authors' information 著者情報

このセクションはオプションです。

論文や著者の立場を理解するための読者の助けになるような情報を掲載することができます。著者の資格や最近の職歴、その他の関連した背景などの情報について詳細を記載することができます。著者の名前はイニシャルで表記して下さい。このセクションには、利益相反に関する内容を記述してはいけません。

## Endnotes 巻末注

注意書きは、肩付き小文字を用いて本文中に指定しなければなりません。また、全ての巻末注(対応する肩付き小文字と共に)は、このセクションに示して下さい。このセクションは、箇条書きではなく、文節として記載して下さい。

## References 引用文献

URL を含む全ての引用は、角括弧を使って順番に番号を振って下さい。本文中で引用された順番で示し、表や凡例・説明文での引用がそれに続きます。引用番号は最終的なものとして、引用文献リストは投稿前に完成させて下さい。

BMC スタイルの例を以下に示します。引用文献リストは正確にこの例に従ったものにして下さい。

良い文献の引用に関する著者ガイダンスについて 編集ポリシー (editorial policies) を参照して下さい。

Web のリンクと URL : 著者本人のウェブサイトへのリンクを含むすべてのウェブのリンクとその URL は、引用文献番号を付して引用文献リストに示して下さい。本文中に URL を記載しないで下さい。サイトのタイトルと URL、サイトにアクセスした日付けを含んだ情報を、次のフォーマットに従って記載して下さい。「The Mouse Tumor Biology Database. <http://tumor.informatics.jax.org/mtbwi/index.do>. Accessed 20 May 2013.」もし、著者または著者のグループが、明確にウェブのリンクに関係するものであるならば(たとえば、ブログ)、引用文献リストに加えなければなりません。

### Example reference style 引用文献リストの例 :

#### **Article within a journal ジャーナルに掲載された論文**

Smith JJ. The world of science. Am J Sci. 1999;36:234-5.

#### **Article within a journal (no page numbers) ジャーナルに掲載された論文(ページ番号無し)**

Rohrmann S, Overvad K, Bueno-de-Mesquita HB, Jakobsen MU, Egeberg R, Tjønneland A, et al. Meat consumption and mortality - results from the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition. BMC Med. 2013;11:63.



**Article within a journal by DOI** DOIで表示されるジャーナルに掲載された論文

Slifka MK, Whitton JL. Clinical implications of dysregulated cytokine production. *Dig J Mol Med*. 2000; doi:10.1007/s801090000086.

**Article within a journal supplement** ジャーナルの付録に掲載された論文

Frumin AM, Nussbaum J, Esposito M. Functional asplenia: demonstration of splenic activity by bone marrow scan. *Blood* 1979;59 Suppl 1:26-32.

**Book chapter, or an article within a book** 著書の章、著書に掲載された論文

Wyllie AH, Kerr JFR, Currie AR. Cell death: the significance of apoptosis. In: Bourne GH, Danielli JF, Jeon KW, editors. *International review of cytology*. London: Academic; 1980. p. 251-306.

OnlineFirst chapter in a series (without a volume designation but with a DOI)

Saito Y, Hyuga H. Rate equation approaches to amplification of enantiomeric excess and chiral symmetry breaking. *Top Curr Chem*. 2007. doi:10.1007/128\_2006\_108.

**Complete book, authored** 著書全体

Blenkinsopp A, Paxton P. *Symptoms in the pharmacy: a guide to the management of common illness*. 3rd ed. Oxford: Blackwell Science; 1998.

**Online document** オンラインの文書

Doe J. Title of subordinate document. In: *The dictionary of substances and their effects*. Royal Society of Chemistry. 1999. [http://www.rsc.org/dose/title of subordinate document](http://www.rsc.org/dose/title_of_subordinate_document). Accessed 15 Jan 1999.

**Online database** オンラインのデータベース

Healthwise Knowledgebase. US Pharmacopeia, Rockville. 1998. <http://www.healthwise.org>. Accessed 21 Sept 1998.

**Supplementary material/private homepage** 補助資料/個人のホームページ

Doe J. Title of supplementary material. 2000. <http://www.privatehomepage.com>. Accessed 22 Feb 2000.

**University site** 大学のサイト

Doe, J: Title of preprint. <http://www.uni-heidelberg.de/mydata.html> (1999). Accessed 25 Dec 1999.

### **FTP site FTP サイト**

Doe, J: Trivial HTTP, RFC2169. <ftp://ftp.isi.edu/in-notes/rfc2169.txt> (1999). Accessed 12 Nov 1999.

### **Organization site 機関のサイト**

ISSN International Centre: The ISSN register. <http://www.issn.org> (2006). Accessed 20 Feb 2007.

### **Dataset with persistent identifier 永続的識別子のあるデータベース**

Zheng L-Y, Guo X-S, He B, Sun L-J, Peng Y, Dong S-S, et al. Genome data from sweet and grain sorghum (*Sorghum bicolor*). GigaScience Database. 2011. <http://dx.doi.org/10.5524/100012>.

### **Figures, tables additional files 図、表、追加ファイル**

図、表、追加ファイルを作成する要領については、[general formatting guidelines](#) を参照して下さい。

## **Preparing main manuscript text 原稿の準備**

### **Quick points 要点:**

- 行間はダブルスペースにして下さい。
- 行とページに番号をつけて下さい。
- SI 単位系を使用してください: 使用した全ての特殊記号は、本文中に組み込んで下さい。そうしないと、PDF に変換するときに消えてしまいます。
- 改ページはしないで下さい。

### **File formats ファイルのフォーマット**

本文原稿の作成には、以下のワープロのファイルフォーマットを使用することができます。:

- Microsoft word (DOC, DOCX)
- Rich text format (RTF)
- TeX/LaTeX (use BioMed Central's TeX template)

**注意事項** : 出版作業で編集できるファイルの使用が必要です。(PDF のような) 編集できないファイルが含まれている場合には、論文がアクセプトされた段階で、編集可能なファイルの再投稿が要求されます。

図は、原稿ファイルの一部ではなく、別のイメージファイルとして投稿してください。詳しくは、下の Preparing figures を見て下さい。

### **Additional information for TeX/LaTeX users    TeX/LaTeX ユーザへの追加の情報**

もし、TeX フォーマットを使用するなら、[BioMed Central's TeX template](#) と BibTeX stylefile を使って下さい。投稿するときには、TeX ファイルをメインの原稿ファイルにして、bib/bbl ファイルを補助（従属？）ファイルにして下さい。また、TeX ファイルを PDF に変換して、この PDF を 'Reference PDF' とする名前を追加のファイルとして投稿して下さい。この PDF は、著者の意向に従って論文のレイアウトをチェックするための参照として使用されます。さらに、すべての図は、TeX ファイルの最後にコードして、本文の行間には置かないようにして下さい。

投稿のプロセス中には、全ての関連する編集可能なソースファイルをアップロードして下さい。これらのソースファイルの投稿がうまくいかない場合には、出版作業の遅延の原因になります。

### **TeX templates**

[BioMedCentral\\_article](#) (ZIP format) - preferred template

[Springer article svjour3](#) (ZIP format)

[birkjour](#) (Birkhäuser, ZIP format)

[article](#) (part of the [standard TeX distribution](#))

[amsart](#) (part of the [standard TeX distribution](#))

### **Style and language    スタイルと言語**

あなたの論文に記載された研究を、編集者や査読者が正確に理解するために、論文は十分に質の高い英語で書かれなければなりません。もし、英語で書くことに対して助けが必要ならば、以下について検討して下さい。 :

- English language tutorial のサイトを覗いてみて下さい。ここでは、英文を書くときの一般的な間違いを示しています。
- 英語を母国語とする同僚や友人に原稿を見てもらって下さい。

- プロの言語校正サービスに依頼して下さい。それによって、編集者はあなたの論文の意味を明確に理解できるようになり、査読での問題点が明らかになります。BMC の関連のサービスとして、Nature Research Editing Service と American Journal Experts があります。

### **Data and materials データと試料**

BMC では、全てのジャーナルに対して、論文の結論の根拠となる全てのデータセットを公共的に使用可能なレポジトリ (where available and appropriate) に預けるか、メイン論文か追加のサポートファイルとして提示することを強く推奨しています。データセットはコンピュータで読めるフォーマット (PDF よりも表計算ソフトのような) にして下さい。編集ポリシー (editorial policies) の推奨するレポジトリのリストを参照して下さい。

いくつかのジャーナルについては、論文の結論の根拠となるデータの提示が絶対的な条件になります。関連するジャーナルの執筆要項を確認して下さい。

全ての論文について、データの利用についての情報を「データと試料の利用 Availability of data and materials」のセクションに詳しく示さなければなりません。このセクションの内容についてのより詳細な情報は、関係するジャーナルの執筆要項の「申告 declarations」のセクションを参照して下さい。データの利用に関する BMC のポリシーについての詳しい情報は、「編集ポリシー Editorial policies」を参照して下さい。

### **Formatting the 'Availability of data and materials' section of your manuscript**

#### **「データと試料の利用について」のセクションでの文例**

「データと試料の利用について」のセクションでは、次の文例を使用して下さい。:

"The dataset(s) supporting the conclusions of this article is(are) available in the [repository name] repository, [unique persistent identifier and hyperlink to dataset(s) in http:// format]."

(本論文の結論を支持するデータセットは、[レポジトリの名前] で利用することができます [固有識別子とハイパーリンク、http:// format] 。)

データが追加ファイルとして存在するときには、次の文例を使用して下さい。:

"The dataset(s) supporting the conclusions of this article is(are) included within the article (and its additional file(s))."

(本論文の結論を支持するデータセットは、論文(とその追加ファイル)の中に含まれません。)

BMC は、the Force 11 Data Citation Principles を推奨します。また、全ての公共的に利用可能なデータセットは、DOI のような登録番号や一意識別子をリファレンスのリストに完全な形で記載して下さい。

データベースについては、データベースが利用可能な web/ftp のアドレスをこのセクションに提示して下さい。

ソフトウェアは次のものを含まれます。:

- Project name: e.g. My bioinformatics project
- Project home page: e.g. <http://sourceforge.net/projects/mged>
- Archived version: DOI or unique identifier of archived software or code in repository (e.g. enodo)
- Operating system(s): e.g. Platform independent
- Programming language: e.g. Java
- Other requirements: e.g. Java 1.3.1 or higher, Tomcat 4.0 or higher
- License: e.g. GNU GPL, FreeBSD etc.
- Any restrictions to use by non-academics: e.g. licence needed

臨床データを含む他のタイプの科学データについて利用できるリポジトリの情報は、編集ポリシー (editorial policies) に掲載しています。

## References 引用

引用の仕方について、編集ポリシー (editorial policies) の著者ガイダンスを参照して下さい。URL を含む全ての引用は、角括弧を使って順番に番号をふり、本文中で引用された順番で示し、表や凡例・説明文での引用がそれに続きます。引用番号は最終的なものとして、引用文献リストは投稿前に完成させて下さい。引用文献リストの例を含む詳細な情報は、引用準備ガイドライン (reference preparation guidelines) を参照して下さい。

## What should be cited? どのような資料を引用すべきか?

出版済みの論文、印刷中の論文、あるいはプレプリントサーバーなど (e-print/preprint servers) で利用可能なものを引用することができます。出版されていない要約、出版されていないデータ、私信は、引用文献リストに加えることはできません。しかし、関係した研

究者の名前を示して「未公表のデータ」「私信」として本文中に記載することは可能です。

「未公表のデータ」「私信」について関係する研究者から許諾を得ることは著者の責任となります。脚注は不可ですが、末尾の注意書きは可能です。雑誌名の短縮形は Index Medicus/MEDLINE に従って下さい。

引用した印刷中の論文や論文審査に関する査読者からの要求については、編集事務局からの要請があった場合には対応して下さい。

### **How to format your references 引用文献リストのフォーマット**

BMC の引用文献リストの例は下に示してあります。引用文献リストの形式は厳密に守って下さい。もし、正しい形式で書かれていないときには、書き直して注意深く校正する必要があります。

### **Web links and URLs ウェブリンクと URL:**

著者自身のウェブサイトへのリンクを含む全てのウェブのリンクと URL は、論文本文中ではなく、引用文献番号を付して引用文献リストに記載して下さい。サイトのタイトルと URL、サイトにアクセスした日付を含んだ完全なものを記載して下さい。以下のフォーマットに従って下さい。 The Mouse Tumor Biology Database. <http://tumor.informatics.jax.org/mtbwi/index.do>. Accessed 20 May 2013. もし、著者が、weblog のようなウェブのリンクに明らかに関係しているならば、それらは引用文献リストに加えて下さい。引用文献リストを正確に作成するために、引用文献管理ソフトウェアを使用することもできます。

### **Example reference style 引用文献リストの例 :**

#### ***Article within a journal* ジャーナルに掲載された論文**

Smith JJ. The world of science. Am J Sci. 1999;36:234-5.

#### ***Article within a journal (no page numbers)* ジャーナルに掲載された論文(ページ番号無し)**

Rohrmann S, Overvad K, Bueno-de-Mesquita HB, Jakobsen MU, Egeberg R, Tjønneland A, et al. Meat consumption and mortality - results from the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition. BMC Med. 2013;11:63.

#### ***Article within a journal by DOI* DOI で表示されるジャーナルに掲載された論文**

Slifka MK, Whitton JL. Clinical implications of dysregulated cytokine production. *Dig J Mol Med*. 2000; doi:10.1007/s801090000086.

**Article within a journal supplement** ジャーナルの付録に掲載された論文

Frumin AM, Nussbaum J, Esposito M. Functional asplenia: demonstration of splenic activity by bone marrow scan. *Blood* 1979;59 Suppl 1:26-32.

**Book chapter, or an article within a book** 著書の章、著書に掲載された論文

Wyllie AH, Kerr JFR, Currie AR. Cell death: the significance of apoptosis. In: Bourne GH, Danielli JF, Jeon KW, editors. *International review of cytology*. London: Academic; 1980. p. 251-306.

**OnlineFirst chapter in a series (without a volume designation but with a DOI)**

Saito Y, Hyuga H. Rate equation approaches to amplification of enantiomeric excess and chiral symmetry breaking. *Top Curr Chem*. 2007. doi:10.1007/128\_2006\_108.

**Complete book, authored** 著書全体

Blenkinsopp A, Paxton P. *Symptoms in the pharmacy: a guide to the management of common illness*. 3rd ed. Oxford: Blackwell Science; 1998.

**Online document** オンラインの文書

Doe J. Title of subordinate document. In: *The dictionary of substances and their effects*. Royal Society of Chemistry. 1999. <http://www.rsc.org/dose/title> of subordinate document. Accessed 15 Jan 1999.

**Online database** オンラインのデータベース

Healthwise Knowledgebase. US Pharmacopeia, Rockville. 1998. <http://www.healthwise.org>. Accessed 21 Sept 1998.

**Supplementary material/private homepage** 補助資料/個人のホームページ

Doe J. Title of supplementary material. 2000. <http://www.privatehomepage.com>. Accessed 22 Feb 2000.

**University site** 大学のサイト

Doe, J: Title of preprint. <http://www.uni-heidelberg.de/mydata.html> (1999). Accessed 25 Dec 1999.

**FTP site** FTP サイト

Doe, J: Trivial HTTP, RFC2169. <ftp://ftp.isi.edu/in-notes/rfc2169.txt> (1999).  
Accessed 12 Nov 1999.

#### **Organization site 機関のサイト**

**ISSN International Centre:** The ISSN register. <http://www.issn.org> (2006).  
Accessed 20 Feb 2007.

#### **Dataset with persistent identifier 永続的識別子のあるデータベース**

Zheng L-Y, Guo X-S, He B, Sun L-J, Peng Y, Dong S-S, et al. Genome data from sweet and grain sorghum (*Sorghum bicolor*). GigaScience Database. 2011.  
<http://dx.doi.org/10.5524/100012>.

[Back to top](#)

## **Preparing figures 図の作成**

図を作成するときには以下の指示に従って下さい：

- 図は独立したファイルとして作成して下さい。本文ファイルに貼り付けしないで下さい。
- それぞれの図は、縦長の書式 1 ページの一枚のファイルとして作成して下さい。
- 表は、図として投稿しないで下さい。表は、本文のファイルに含めてください。
- 複数のパネルを組み合わせた図 (a, b, c, d, などの部分に分かれた図) は、全体を一枚のファイルとして投稿して下さい。
- 図は、本文中で最初に言及した順番に番号を振って、その順番でアップロードして下さい。
- 図は、正しい方向でアップロードして下さい。
- 図のタイトル (最大 1 5 語) と説明文 (最大 3 0 0 語) は、図のファイルではなく、メインの本文のファイルに記載して下さい。
- Figure keys は図の中に示し、図の説明文には書かないで下さい。
- 図は、周囲の余白ができるだけ小さくなるようにトリミングして下さい。これによって、アクセプトされた原稿を版組する際に図を配置する精度が向上します。個々



の図のファイルのフォーマットに関する詳細な情報については、詳細指示を参照して下さい。

- 個々の図は10MBを越えないようにして下さい。適切なフォーマットを選択すれば、このファイルサイズで十分な質を得ることができます。
- **すでに出版されている図（あるいは表）を使用するときの著作権者に対する許諾の確認は著者の責任となります。**出版される論文の図はオープンアクセスになりますので、オープンアクセスではないジャーナルに出版された図を掲載するときには、著作権者の許可を得る必要があります。許諾は図の説明文に示し、出典は引用文献リストに記載します。

### Figure file types 図のファイルのタイプ

図では、次のフォーマットを使用することができます。

- EPS (suitable for diagrams and/or images)
- PDF (suitable for diagrams and/or images)
- Microsoft Word (suitable for diagrams and/or images, figures must be a single page)
- PowerPoint (suitable for diagrams and/or images, figures must be a single page)
- TIFF (suitable for images)
- JPEG (suitable for photographic images, less suitable for graphical images)
- PNG (suitable for images)
- BMP (suitable for images)
- CDX (ChemDraw - suitable for molecular structures)

特定の図に適したフォーマットに関する情報と助言は、author academy を参照して下さい。

### Figure size and resolution 図の大きさ と 解像度

BMC の標準の寸法に合わせるために、出版の過程で HTML 版、PDF 版ともに、図のサイズが修正されます。詳細は以下の通りです。

ウェブ上の図 :

- 幅 600 ピクセル(標準)または 1200 ピクセル (高解像度)

最終 PDF 版の図 :

- 半ページ幅に掲載する図の幅 85mm
- 1 ページ幅に掲載する図の幅 170mm
- 図と説明文を併せた最大の高さ 225mm
- 最終版の解像度は約 300dpi

図は、文字を含めた全ての情報が、この大きさと読み取れるようにデザインして下さい。標準的な図の幅にしたときには、全ての線の幅は 0.25pt より広くして下さい。全てのフォントは埋め込み型にして下さい。

### **Figure file compression 図のファイルの圧縮**

- ベクター形式の図は可能ならば PDF ファイルで投稿して下さい。EPS ファイルよりも一般的にコンパクトです。
- TIFF ファイルは LZW 圧縮で保存して下さい。それによって、アップロードの時間を最短にするために質を落とさずにファイルサイズを小さくできます。
- JPEG ファイルは最大のクオリティで保存して下さい。
- 異なるファイルタイプ間（特に、JPEG のような損失のあるファイル）での変換は、質の低下を避けるために最小限にして下さい。

質問があったり、図についての問題がある場合には、カスタマーサービスチームに連絡して下さい。 [japan@biomedcentral.com](mailto:japan@biomedcentral.com) (日本語での問い合わせ可)。

[Back to top](#)

### **Preparing tables 表の作成**

表を作成するときには、以下のフォーマットの指示に従って下さい。

- 表は、アラビア数字で番号を振って（例、Table 1, Table 2 等）、順番に本文中に引用して下さい。
- A4 またはレターサイズ 1 枚に収まる表は、原稿中の適当な箇所に配置して下さい。
- A4 またはレターサイズ 1 枚に収まらない表は、文書テキストファイルの最後に配置して下さい。その場合、その表を文中に引用し、テキストファイル中の適切な位置を指示して下さい。それによって、版組の過程で図は適切な位置に配置されます。

- 大きなデータセットや横位置の A4 あるいはレターサイズに収まらない表は、追加ファイルとしてアップロードすることができます。追加ファイルの作成を参照して下さい。
- 表形式のデータの追加ファイルは Excel のシートか (.xls)、カンマ区切り (.csv) としてアップロードできます。標準のファイル拡張子を使用して下さい。
- 表のタイトル (最大 15 語) は表の上書き、表の説明文 (最大 300 語) は表の下書きします。
- 表は、図や表計算のファイルとして貼り付けしないで、ワープロソフトの 'Table object' の機能を使用してフォーマットして下さい。
- 色と網掛けは使用しないで下さい。重要な部分を示す場合には、肩付き文字、番号、記号、太字などを用い、その意味は表の説明文に記して下さい。
- 数値を示すためにコンマは使用しないで下さい。

質問があったり、表についての問題がある場合には、カスタマーサービスチームに連絡して下さい。 [japan@biomedcentral.com](mailto:japan@biomedcentral.com) (日本語での問い合わせ可)。

## **Preparing additional files 追加ファイルの作成**

多くの論文のタイプでデータの長さや量は制限されていないので、データセットや表、動画等、様々な情報を追加ファイルとして提供することができます。

全ての追加ファイルはアクセプトされた論文と一緒に公開されます。患者の同意書、英文校閲証明書、改訂中の原稿のようなファイルは含めないで下さい。もし要求があった場合には、そのようなファイルは、原稿のリファレンス番号を付してジャーナルの編集事務局宛にメールで送付して下さい。患者の同意書は、要求が無い場合には送らないで下さい。「データ非提示 "data not shown"」と示された結果は、追加ファイルとして含まれていなければなりません。ウェブのリンクや URL はすぐに壊れてしまうので、BMC では、データを追加ファイルとして提示するか、承認されたレポジトリに預けることを求めます。個人や部門のウェブサイトのデータにリンクしないで下さい。また、患者の個人情報に掲載しないで下さい。追加ファイルの最大のサイズは 1 つにつき 20MB です。ファイルを投稿する際にはウイルス検査を行って下さい。各追加ファイルは論文本体の中に順番に引用して下さい。

もし、追加ファイルを提出するときには、論文本体のファイルにセクションを設けて、以下の情報をリストして下さい：

- ファイルの名称（例えば、Additional file 1）
- .pdf, .xls, .txt, .pptx などの正確なファイル拡張子を含むファイルのフォーマット（特殊なフォーマットの場合には、適切なビューワーの名称と URL も）。
- データのタイトル
- データの説明

追加ファイルは「Additional file 1」のように名前を付けて、論文本体の中でファイルの名前によって明確に引用して下さい。例えば、「An additional movie file shows this in more detail [see Additional file 1]」。

追加ファイルの使い方についてのより詳しい情報や特別なタイプのデータや情報の提示方法については、[How to use additional files.](#)を参照して下さい。

## **Prepare supporting information 支援情報の作成**

論文を投稿する前に以下の情報について確認して下さい。

### **Author information 著者情報**

論文に掲載している全ての共著者のフルネームとメールアドレス

### **Cover letter カバーレター（原稿送付状）**

カバーレターは以下の情報を記載して下さい。投稿する論文のタイプによって追加の情報を掲載する必要があります。

- 論文を JPA に投稿する理由
- ジャーナルポリシーに関連することがら
- 潜在的な利益相反の宣言
- 全ての共著者が論文の投稿に同意していることの確認
- 論文の内容はこれまでに出版されたものでなく、投稿もされていないことの確認（二重出版ポリシーを参照して下さい）
- 特定の特集の一環として論文を投稿する場合には、特集の名称を記載して下さい。

### **Peer reviewers 査読者**

論文の査読候補者を指名することができます。指名する場合には、所属機関のメールアドレスか、候補者個人を特定できる ORCID や Scopus ID などの情報を提供して下さい。たとえば、候補者の氏名やメールアドレスなど故意に偽造した情報を提供した場合には、論文は却下され、不正行為ポリシーに従ってさらに調査を行います。

### **Excluding peer reviewers 査読者にしない候補者**

投稿する時点で、あなたの論文の査読者に適当ではない者の情報を指定することができます。

## **Conditions of publication 出版の条件**

### **Copyright and license agreement 著作権とライセンスの許諾**

投稿に当たって、次の条件を承諾する必要があります。

- 全ての論文の著者は、ICMJE 基準に従って、論文が正確で誠実であることに対する責任を負うこと
- 論文はオリジナルで有り、すでにジャーナルに発表されたものではなく、また他の雑誌への掲載が検討されているものでもないこと
- BMC の著作権とライセンスに関する取り決めに同意すること。この取り決めを読み、データ公開ポリシー (Open Data policy) の該当箇所も読まれることを強く推奨します。著作権者になることを禁止されている著者に対しては (英国国王の著作権が適用されていたり、アメリカ政府の職員の場合など)、通常とは異なる著作権の方法を適用することができます。もし、そのような場合には、連絡して状況を知らせて下さい。

より詳細な情報は [Copyright and license policy.](#) を参照して下さい。

### **Article-processing charge 論文掲載料 (APC)**

JPA に掲載が決定した論文には論文掲載料 (APC) が科せられます。より詳細な情報は掲載料のページを参照して下さい。

## **Editorial policies 編集ポリシー**

### **Table of contents 目次**

- **Overview 概要**
- **Ethics and consent 倫理と同意**
- **Research involving animals 動物を使用する研究**
- **Research involving plants 植物を使用する研究**
- **Consent for publication 出版に対する同意**
- **Trial registration 試験の登録**
- **Availability of data and materials データと試料の利用**
- **Standards of reporting レポートに関する標準**
- **Describing new taxa 新規分類群の記述**
- **Competing interests 利益相反**
- **Authorship オーサーシップ(著者としての貢献)**
- **Citations 引用**
- **Duplicate publication 二重出版**
- **Text recycling 文章の再生利用(自己剽窃)**
- **Peer review ピアレビュー(査読)**
- **Confidentiality 秘匿性**
- **Misconduct 不正行為**
- **Corrections and retractions 訂正と撤回**
- **Appeals and complaints 不服申立**

[Back to top](#)

### **Overview 概要**

BMC は、出版倫理委員会 (Committee on Publication Ethics, COPE) のメンバーであり、世界医学編集者協会 (World Association of Medical Editors, WAME) の編集上の決定事項に関する地政学的教示のポリシー声明 (Policy Statement on Geopolitical Intrusion on Editorial Decisions) を支持しています。BMC は又、医学雑誌編集者国際委員会 (International Committee of Medical Journal Editors, ICMJE) の医学雑誌における学

術研究の実施、報告、編集、出版に関する推奨事項 (Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing and Publication of Scholarly Work in Medical Journals.) を支持しています。BMC のジャーナルに論文を投稿することは、全ての著者がその内容を読み、理解していること、また、出版された論文は BMC のジャーナルポリシーを確認していることを意味します。

[Back to top](#)

## **Ethics and consent 倫理と同意**

### **Ethics approval 倫理的承認**

被験者、ヒトの試料やデータを扱う研究は、ヘルシンキ宣言に則って実施され、適切な倫理委員会の承認を得なければなりません。また、そのような研究を報告する論文には、倫理委員会の名称と承認番号を含む詳細な情報が書かれていなければなりません。もし、倫理委員会の承認免除が認められている場合には、(免除を承認した倫理委員会の名称を含む) そのことを論文の中に記述する必要があります。倫理審査と承認に関する詳細な情報や書類は、要求に応じて編集委員会に提出しなければなりません。編集委員会によって倫理審査の基準に適合していないと判断されたときには、論文はリジェクトされます。希なケースですが、編集委員会が倫理委員会に対して更なる情報の提供を依頼することもあります。

### **Retrospective ethics approval 事後の倫理的承認**

もし、事前に倫理委員会の承認を得ていなかった場合、遡っての倫理委員会の承認を得ることは通常認められず、論文の査読を行うことはできません。このような場合に、論文の査読を行うかどうかは、編集委員の裁量によります。

### **New clinical tools and procedures 新規の臨床機材と臨床手順**

臨床環境での新しい手順や機材の使用を報告しようとする場合には、患者にとっての臨床的な必要性に照らして、なぜその新しい手順や機材が従来のものよりも適切であると考えられるのか、明確な根拠を論文中に示さなければなりません。もし、新しい手順がすでに著者の所属機関で臨床的な使用が認められている場合には、そのような根拠は必要ありません。臨床的な必要性に基づいた明確な利点が、使用する前には明らかではなかった場合には、新規の手順や機材を実験的に使用することに対する倫理委員会の承認や被験者の同意を得ておくことが必要です。

## **Consent to participate 被験者の同意**

ヒト被験者を用いる全ての研究は、被験者の同意を得ておくことが必要で（16歳未満の場合には、親か法的な保護責任者）、論文の中にこのことを記述しなければなりません。

[Back to top](#)

## **Research involving animals 動物を使用する研究**

脊椎動物あるいは管理された無脊椎動物を使用する実験的研究では、研究機関、国、あるいは国際的なガイドラインに従い、適切な倫理委員会による認可を受けなければなりません。バーゼル宣言（Basel Declaration）は、動物実験を行う際の厳守すべき基本的な原則の概略を示しており、実験動物科学国際委員会（ICLAS）も、倫理ガイドラインを発表しています。

関連したガイドラインの遵守を詳述している声明（例えば、イギリスの the revised Animals (Scientific Procedures) Act 1986 やヨーロッパの Directive 2010/63/EU）、倫理委員会の承認（倫理委員会の名称、該当する場合はその番号）について、論文中に記載しなければなりません。もし、倫理的承認が免除されているならば、そのことを論文中に記述しなければなりません（免除した倫理委員会の名称と免除した理由を含む）。編集委員会は、動物保護の問題を考慮し、特に、当該の実験が通常認められている動物実験の標準的方法に相反するプロトコルを含む場合には、論文を却下する権利を所有しています。希なケースですが、編集委員会はより詳細な情報を得るために、倫理委員会に問い合わせることがあります。クライアントが所有する動物を使用する実験的研究の場合、論文の著者はクライアントまたは所有者から文書による同意を得て、高度な獣医医療を厳守しなければなりません。

動物に関するフィールド研究やその他の実験ではない研究では、研究機関、国、あるいは国際的なガイドラインに従い、適切な倫理委員会による認可を受けなければなりません。関連したガイドラインの遵守を詳述している声明、倫理委員会の承認やライセンスについて、論文中に記載しなければなりません。われわれは、著者が、絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引に関する条約（ワシントン条約）および絶滅の危機にさらされている種を含む研究に関する IUCN 声明を遵守することを推奨します。

[Back to top](#)



## **Research involving plants 植物を使用する研究**

植物採集を含む植物（栽培、野生の両者）についての実験的研究は、研究機関、国、あるいは国際的なガイドラインの承認を得なければなりません。フィールドでの研究は、地域の法令に従って実施されなければなりません。また、論文には、充当された許可やライセンスを特定する記述がなければなりません。われわれは、絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引に関する条約（ワシントン条約）に従うことを推奨します。

公共の植物標本室または、預けられた材料を確認することができるその他の公共のコレクションに、証拠標本を預けなければなりません。証拠標本についての情報とだれが同定したのか、論文に記載しなければなりません。

[Back to top](#)

## **Consent for publication 出版に対する同意**

個々の被験者に関する描写、画像、動画を掲載する全ての論文は、これらを出版することに関して被験者の書面による同意を得て（16歳未満の場合には、親か法的な保護責任者）、そのことを論文の中に示さなければなりません。もし、被験者が死亡した場合には、被験者の血縁者から出版に関する同意を得なければなりません。

被験者から出版に関する同意を得る場合には、BMCの同意書様式を使用することができませんが、各々の所属機関や地域の様式でも構いません。この書類は、編集委員会からの要求があった場合には提出しなければならず、また書類は守秘されなければなりません。画像が決して個人を特定できるものではなく、論文に個人に関する詳細が記述されていない場合には、画像の出版に関する同意は必要ありません。出版に関する同意が必要か否かの最終的な判断は編集委員会が行います。

[Back to top](#)

## **Trial registration 試験の登録**

BMCは、臨床試験の報告を促進するためのイニシアティブをサポートします。これには、公共的に使用可能なデータベースへ臨床試験を登録することを含んでいます。ICMJEガイ

ドラインに従って、BMC では、投稿論文として報告される全ての臨床試験の登録を必要とします。

ICMJE では、WHO の臨床試験の定義を採用しています。そこでは、「健康上の問題についての影響を評価するために、被験者またはヒトの集団に対してひとつかそれ以上の健康に関連した介入を行う研究」とされています。この定義は、フェーズ I ~ IV を含むものです。

ICMJE は、健康に関連した介入とは、「医学的あるいは健康上の問題を是正するために用いられる介入」と定義し、健康上の問題とは、「患者あるいは被験者から得られる医学的あるいは健康に関連した評価の結果」と定義しています。自身の試験について登録が必要であるかどうか分からないときには、ICMJE FAQs を参照して更なる情報を得なければなりません。

公共的に利用可能で適当なレジストリは、WHO の国際臨床試験登録プラットフォーム ([WHO International Clinical Trials Registry Platform](#)) はもちろんのこと、ICMJE のウェブサイト ([ICMJE website](#)) にリストアップされています。BMC が運営し出版している ISRCTN レジストリが含まれています。

試験登録番号 (TRN) と登録日は、論文アブストラクトの最後の行に記さなければなりません。

事前に登録されていなかった臨床試験については、全ての結果を完全に論文として出版できるように、BMC は過去に遡って登録することを推奨します。遡及的登録に関する詳しい情報は、[AllTrials campaign](#), the [Public Accounts Committee](#) and the [Department of Health](#) で得ることができます。BMC で出版されている多くのジャーナルは、過去に遡って登録された研究についても考慮しています。この場合には、試験登録番号 (TRN) と登録日、「retrospectively registered」という文言を、論文アブストラクトの最後の行に記さねばなりません。

### **Registration of systematic reviews システマティックレビューの登録**

BMC は、システマティックレビューの事前の登録をサポートし、(PROSPERO のような) 適切なレジストリにシステマティックレビューを登録することを奨励しています。システマティックレビューを登録した場合には、登録番号を論文アブストラクトの最後の行に記さねばなりません。

## **Availability of data and materials データと試料の利用**

BMC のジャーナルに論文を投稿することは、論文中に記述された全ての関連する生データを含む試料は、被験者の個人情報を除いて、商業的目的以外で利用を希望するいかなる科学者も自由に利用できることを意味します。

すべてのジャーナルについて、BMC は、論文の結論の根拠となる全てのデータセットが読者に公開されることを強く推奨します。また、BMC は、確立されたデータシェアリングの基準を有する学協会に、データの預託（データのタイプによる預託の方法は以下を参照して下さい）を委任します。

データセットは公共的に利用可能なリポジトリ（利用可能な適切なもの）に預けるか、主要な論文の追加ファイルとして提示するか、いずれかを推奨します。データセットは、可能な限り機械的に読み取り可能なフォーマット（PDF ファイルではなく表計算ソフトのファイルのような）にして下さい。推奨リポジトリのリストをご覧ください。いくつかのジャーナルでは、論文の結論の根拠となるデータの預託を必須としています。詳細な情報は、個々のジャーナルの投稿規定をご覧ください。

著者と編集者のためのデータポリシーに関する支援は、[researchdata@springernature.com](mailto:researchdata@springernature.com) で得ることができます。このサービスは、研究データポリシーの受諾に関することと研究データリポジトリを見つけることに関するアドバイスを行います。これは、ジャーナルや書籍、学会の抄録集の編集事務局とは独立したもので、特定の論文についてのアドバイスは行いません。

## **Availability of data and materials section データと試料の利用のセクション**

全ての著者は、論文の知見を支持するデータを閲覧することのできる場所を示した「Availability of Data and Materials」のセクションを、論文中に示さなければなりません。データの公開を希望しない場合は、データを公開しない理由を示さなければなりません。データと試料の利用に関する記述は、以下のフォームのいずれかを利用することができます（複数のデータセットについて必要な場合には、いくつかの文例を組み合わせる利用して下さい）。

- The datasets generated during and/or analysed during the current study are available in the [NAME] repository, [PERSISTENT WEB LINK TO DATASETS]

(この研究で取得し解析したデータセットは、「〇〇〇」リポジトリに公開しています。)

- The datasets during and/or analysed during the current study available from the corresponding author on reasonable request.

(この研究で取得し解析したデータセットは、正当な要求があった場合、責任著者から開示されます。)

- All data generated or analysed during this study are included in this published article [and its supplementary information files].

(この研究で採取し解析した全てのデータは、本論文(と付録の情報ファイル)の中に含まれています。)

- The datasets generated during and/or analysed during the current study are not publicly available due [REASON WHY DATA ARE NOT PUBLIC] but are available from the corresponding author on reasonable request.

(この研究で取得し解析したデータセットは、〇〇〇のため、公開しておりません。しかし、正当な要求があった場合には責任著者から開示されます。)

- Data sharing not applicable to this article as no datasets were generated or analysed during the current study.

(この研究ではデータセットの取得や解析をしていないので、本論文のデータを開示することはできません。)

- The data that support the findings of this study are available from [third party name] but restrictions apply to the availability of these data, which were used under license for the current study, and so are not publicly available. Data are however available from the authors upon reasonable request and with permission of [third party name].

(この研究の知見を支持するデータは、〇〇〇で取得することができますが、ライセンスが必要なため、一般には利用することはできません。正当な要求があり、〇〇〇の許可が得られた場合には、データを提供します。)

- Not applicable. If your manuscript does not contain any data, please state not applicable in this section.

(適用なし。論文にデータが含まれない場合には、このセクションに not applicable と記載して下さい。)

BMC は [Force 11 Data Citation Principles](#) を支持しています。また、すべての公共で利用可能なデータセットは、登録番号や DOI などの識別子を付して引用リストに掲げて完全な形で引用するよう求めています。

### List of recommended repositories 推奨リポジトリ一覧

対象とする領域やデータの種類による推奨リポジトリの一覧は、[Springer Nature Recommended Repositories list](#) で見ることができます。リポジトリがふさわしいものであるか疑問があるときには、ヘルプデスク [researchdata@springernature.com](mailto:researchdata@springernature.com) に問い合わせして下さい。

### Community-established norm of data deposition

#### 学協会によって確立されたデータシェアリングの基準的様式を有する機関

#### Mandatory deposition

Protein sequences

DNA and RNA sequences

DNA and RNA sequencing data

Genetic polymorphisms

Linked genotype and phenotype data

#### Suitable repositories

[Uniprot](#)

[Genbank](#)

[DNA DataBank of Japan \(DDBJ\)](#)

[EMBL Nucleotide Sequence Database \(ENA\)](#)

[NCBI Trace Archive](#)

[NCBI Sequence Read Archive \(SRA\)](#)

[dbSNP](#)

[dbVar](#)

[European Variation Archive \(EVA\)](#)

[dbGAP](#)

[The European Genome-phenome Archive \(EGA\)](#)

	<u>Worldwide Protein Data Bank (wwPDB)</u>
Macromolecular structure	<u>Biological Magnetic Resonance Data Bank (BMRB)</u>
Microarray data (must be MIAME compliant)	<u>Gene Expression Omnibus (GEO)</u> <u>ArrayExpress</u>
Crystallographic data for small molecules	<u>Cambridge Structural Database</u>

### **Publication of clinical datasets 臨床データセットの出版**

臨床データを含むデータセットに関して、著者は、プライバシーに関する被験者の権利を尊重し、彼らのアイデンティティーを保護する倫理的及び法的な責任を有します。理想的には、被験者が試験に参加する時点で、データセットの公開について被験者の書面による同意を得ておくべきです。それができない場合には、そのようなデータの出版は、匿名性や秘密性を損なうことはなく、データ保護の法律に違反することもないことを説明しなければなりません。著者は、被験者が完全に匿名ではない可能性があることを考慮して、投稿前に、データセットに直接的あるいは間接的な識別子が含まれていないか、また、地域の倫理委員会やその他の審査機関に相談するかどうか、考慮しなければなりません。著者は、患者データの出版に対してインフォームドコンセントが得られているかどうか投稿する論文に宣言しなければなりません。もし、インフォームドコンセントが得られていない場合には、その理由とデータセットの準備について相談した機関名を示さなければなりません。

### **Software and code ソフトウェアとコード**

それまでに未発表のソフトウェアアプリケーションやカスタムコードを論文中に記載した場合には、それらの匿名性が維持される方法で、査読者がテストできるようにしなければなりません。データと試料の利用のセクションに、その未発表のソフトウェアアプリケーションやカスタムコードに査読者がアクセスする方法を記さなければなりません。このセクションには、論文で引用した古いバージョンへのリンクはもちろん、最新バージョンへのリンクを記さなければなりません。当該のソフトウェアやコードは、DOI やその他の識別子を

付けて適切なリポジトリに保管しなければなりません。GitHubのソフトウェアについては、Zenodoを使用することをお勧めします。論文が出版された時には、ソフトウェアアプリケーションやツールは、（移管に関する同意を得るような）制限を設けることなしに、非営利目的の使用を希望する科学者によって自由に利用できるものでなければなりません。もし、自由に利用することができないならば、論文は背景となる方法の開発に焦点を当てたものとなり、そのツールについては詳しく考察してはなりません。

[Back to top](#)

### **Standards of reporting レポートに関する標準**

BMCは、生物医学研究および生物学的研究の完全で透明性の高い報告（reporting）を推奨しています。あなたの研究を報告するときには、[Minimum standards of reporting checklist](#) をご覧下さい。正確な要求事項はジャーナルによって異なります。各ジャーナルの投稿規定をご覧下さい。さらに、論文の準備を行うときには、[EQUATOR Network](#) が制定する健康関連研究の報告に関するミニマムガイドラインを参照することを強くお勧めします。また、生物学及び生物医学研究の報告チェックリストとして、[BioSharing Portal](#) もお勧めします。論文を作成するときにはこれらのガイドラインを遵守すべきです。また、査読者が論文を評価するときには、これらのチェックリストを参照するように求められるでしょう。

チェックリストは、以下を含む多くの研究のデザインに適用することができます：

- 無作為化比較試験([CONSORT](#))およびプロトコル([SPIRIT](#))
- システマティックレビューとメタアナリシス([PRISMA](#))およびプロトコル([PRISMA](#))
- 観察研究([STROBE](#))
- 症例報告([CARE](#))
- 定性研究([CARE](#))
- 診断／予知研究([STARD](#) and [TRIPOD](#))
- 経済精評価([CHEERS](#))
- 前臨床動物試験([ARRIVE](#))

\* システマティックレビューの著者は、'方法'のセクションから追加ファイルへのリンクを張って下さい。追加ファイルには、全ての探索戦略の詳細を再現して下さい。どのようにし

て探索戦略を再現するかの例については、[Cochrane Reviewers' Handbook](#) を参照して下さい。

### **Statistical methods 統計的手法**

用いた統計的テストが妥当であることの根拠を含め、用いた統計的方法と測定に関する全ての情報を示さなければなりません（詳細は [SAMPL guidelines](#) を参照して下さい）。査読者は統計的方法のチェックを依頼することがあり、もし必要であると考えられた場合には、統計の専門家による査読が実施されます。

### **Resource identification リソースの特定**

生物医学の論文に報告された科学的知見を得るために使用された主要なリソースを効率的に追跡できるように、間違いなく特定できるような十分な情報を添えた全てのリソースを記述することが求められます。MBC は [Resource Identification Initiative \(RII\)](#) を支持しており、著者には、論文で使用したモデル組織、抗体、ツールなどを特定できるようにするために、[Resource Identifiers \(RRIDs\)](#) を使用するよう推奨しています。

### **Cell line authentication 細胞株認証**

ヒトの細胞株を使用する場合には、論文には以下の情報を掲載することが強く推奨されます。:

- いつ、どこで取得したのかを含めた細胞株の由来
- その細胞株は最近認証されたか、また、それはどのような方法か
- その細胞株は最近マイコプラズマの混入についてテストされたか

更なる情報は [International Cell Line Authentication Committee \(ICLAC\)](#) から得ることができます。ヒト細胞株の誤認や混入に対して [NCBI database](#) をチェックすることを推奨します。

### **Gene nomenclature 遺伝子の命名法**

一貫して標準的な遺伝子命名法を使用しなければなりません。ヒト遺伝子の記号と名前は [HUGO Gene Nomenclature Committee \(HGNC\)](#) のデータベースで見ることができます。新規遺伝子の記号は、[ここに](#)投稿して要求して下さい。[ここでは](#)遺伝子命名法についての手続が指導されます。一般的に使用されている別名もレポートされるかもしれませんが、HGNC symbol の箇所にそれ単独を使用してはなりません。ヒト以外の種についての命名法委員会は[ここに](#)一覧があります。



## **Reporting of sequence variants 配列変異の報告**

BMC は、ヒトゲノム配列の変異([Human Genome Variation Society](#))と表現型([Human Phenotype Ontology](#))を記述するための the Human Variome Project コンソーシアムを支援しています。論文中に記載した全ての変異について、遺伝子と疾病に特化した適切な公的データベース (LSDB) に投稿することを推奨しています。論文には、そのデータベースの URL と個別識別子を掲載しなければなりません。

## **Data データ**

報告された研究の再使用と実利を最大限に高めるために、著者はデータの処理と記録に関して分野ごとの標準に従って下さい。分野ごとのデータ標準についての情報は、[BioSharing](#) のウェブサイトを見て下さい。患者の機密を守るために特別な注意を払って、研究領域でのデータ共有のベストプラクティスに感じなければなりません。

未発表の遺伝子データを使用する場合には、[Fort Lauderdale](#) と [Toronto](#) 同意のガイドラインを遵守することが求められます。広く承認された学協会の標準に基づいて、遺伝子データを使用する第三者の基本的な要求事項は、計画された解析についてアドバイスを得るため、研究に取りかかる前に未発表データの所有者（たとえば、the principal investigator and sequencing center）にコンタクトすることです。

[Back to top](#)

## **Describing new taxa 新規分類群の記述 (和訳省略)**

### **Algal, fungal, and botanical names 藻類、真菌、植物の命名**

Since January 2012, electronic publication of algal, fungal, and botanical names has been a valid form of publication. Manuscripts containing new taxon names or other nomenclatural acts must follow the [guidelines](#) set by the International Code of Nomenclature for algae, fungi, and plants. Further helpful information by Sandra Knapp et al. is available [here](#).

Authors describing new fungal taxa should register the names with a recognized repository, such as [Mycobank](#), and request a unique digital identifier which should be included in the published article.

### **Zoological names 動物の命名**

Since January 2012, electronic publication of zoological names has been a valid form of publication if certain conditions are met. Manuscripts containing new taxon names or other nomenclatural acts must follow the [guidelines](#) set by the International Commission on Zoological Nomenclature. We require the new taxon name and the article it is published in to be registered with [ZooBank](#). The unique identifier provided by ZooBank should be included in the published article. Authors will be able to update ZooBank with the final citation following publication. Further helpful information by Frank-T. Krell is available [here](#).

### **Bacterial names** **バクテリアの命名**

In accordance with the International Code of Nomenclature of Prokaryotes (ICNP) effective publication of new prokaryotic names in electronic journals is possible. In order to comply with rules of the International Committee on Systematics of Prokaryotes ([ICSP](#)) for valid [publication](#) authors must submit a copy of the published article in its final form, together with certificates of deposition of the type strain (for unrestricted distribution), in at least two internationally recognized, publicly accessible culture collections located in different countries, to the International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology (IJSEM) editorial office. Following review by the List Editor, effectively published names that conform to all of the rules of the ICNP will appear on a subsequent Validation List, in the order received, thereby becoming validly published.

### **Virus names** **ウィルスの命名**

The proposal of new virus names must follow the guidelines established by the International Committee on Taxonomy of Viruses (ICTV) in the [International Code of Virus Classification and Nomenclature](#). Proposals for new virus taxa should be forwarded to the relevant [Study Group of the ICTV](#) for consideration.

[Back to top](#)

### **Competing interests** **利益相反**

BMC は、著者に対して、当該の研究に関連する全ての利益相反を宣言するよう求めます。全ての投稿論文は、全ての利益相反（金銭的及び非金銭的）をリストアップしたセクションを原稿の最後に提示しなければなりません。利益相反がない場合には、“The author(s) declare(s) that they have no competing interests” と記載しなければなりません。編集委員会は、利益相反に関して更なる情報を求めることがあります。

論文審査を担当する編集者と査読者にも、利益相反について宣言することが要求されます。そして、利益相反があった場合には、彼らは査読のプロセスから除外されます。

### **What constitutes a competing interest? 何が利益相反に該当するのか？**

利益相反は金銭的なものと非金銭的なものがあります。著者によるデータの解釈あるいは情報の提示が、他の人や組織との個人的関係や金銭的關係によって影響を受けている可能性がある場合には、利益相反が存在します。著者は、金銭的な利益相反のみならず、論文が出版された後に公になることによって当惑を招くような可能性のある非金銭的な利益相反についても開示しなければなりません。

商業的な機関からの論文については、下記の'Commercial organizations' で利益相反に関する更なる情報を参照して下さい。

### **Financial competing interests 金銭的利益相反**

金銭的な利益相反は以下のものがあります（これらが全てではありません）

- 当該論文が出版されることによって、現在および将来にわたって何らかの金銭的な利益や損失を被るような組織から、支払い、報酬、資金提供、あるいは給与を受けること
- 当該論文が出版されることによって、現在および将来にわたって何らかの金銭的な利益や損失を被るような組織の株式を保有していること
- 当該論文の内容に関連した特許を保有しているか、最近申請したこと
- 当該論文の内容に関連した特許を保有するか申請した組織から、支払い、報酬、資金提供、あるいは給与を受けること

### **Non-financial competing interests 非金銭的利益相反**

非金銭的な利益相反には、政治的・個人的・宗教的・イデオロギー的・知的利益相反があります。このガイドラインを読んだ後に、このような利益相反があるかどうか分からない時には、[japan@biomedcentral.com](mailto:japan@biomedcentral.com) に連絡して下さい。

## **Commercial organizations 営利的な組織**

製薬会社あるいは臨床試験のスポンサーになり得るような営利企業に所属する著者は、投稿時にそのことを利益相反として宣言しなければなりません。また、Good Publication Practice guidelines for pharmaceutical companies (GPP3) を、遵守しなければなりません。これは、論文の出版が責任ある倫理的な方法で行われることを確かなものにするために定められています。このガイドラインは、フリーランスのライター、研究受託機関、情報通信会社のように、企業のスポンサーによって出版を行う会社や個人にも適用されます。BMC は、論説調の広告は出版しません。

[Back to top](#)

## **Authorship オーサーシップ (著者としての貢献)**

各々の著者の信頼を確保するために、各著者の貢献の内容を論文の中に明示しなければなりません。

一般的には、著者は出版される研究に対して実質的な知的貢献を行った者であると考えられています。あなたの研究領域で適用されるオーサーシップのガイドラインか、もしそのようなガイドラインがないようでしたら ICMJE のガイドラインに準拠することを勧めます。ICMJE のガイドラインによれば、著者として認められるためには、次のような要件があります。

1. コンセプトの立案と研究計画、データの取得、データの解析と解釈のいずれかにおいて実質的な貢献があること。
2. 原稿の執筆あるいは重要な知的内容に関する改訂に参加すること。
3. 出版する原稿の最終承認を行うこと。それぞれの著者は、適切な部分の内容に対して公共の責任を負えるよう、十分に作業に参加しなければならない
4. 研究のあらゆる部分の正確性や完全性に関する疑問について適切に検討し解決することを保証するという意味において、研究のあらゆる面に責任を持つことに同意すること

研究費の獲得、データの採取、研究グループの一般的な監督、これら単独では一般に著者として認められません。

著者の貢献内容のリストのフォーマットは、個々のジャーナルの執筆要項を見て下さい。

オーサーシップの変更を希望する場合には、change of authorship form の提出が必要となります。オーサーシップの変更は論文がアクセプトされた後には受け付けられません。

### **Acknowledgements 謝辞**

オーサーシップの基準には合致しない全ての貢献者は、謝辞のセクションにリストアップします。純粋にテクニカルな支援あるいは執筆のアシスタント、あるいは、一般的なサポートを提供した部門の責任者などが例になります。

### **Scientific (medical) writers 科学 (医学) ライター**

論文の作成に当たって科学(医学)ライターやその他の人から支援を得た場合には、European Medical Writers Association (EMWA) guidelines に書かれているように、経費的な補助に加えて、謝意を示さなければなりません。医学ライターの任務に対しては、適宜 'Acknowledgements' または 'Authors' contributions' のセクションに明確に記述しなければなりません。

[Back to top](#)

### **Citations 引用**

研究報告、研究報告以外の論文（例えば、意見、総説、コメンタリーなど）では、主張を支持するような適切で関連した文献を引用しなければなりません。過剰で不適切な自己引用、あるいは幾人かの著者の中で互いに引用し合うような連携した取組みは、強く排除されません。

著者は原稿を作成するときには以下のガイドラインを考慮しなければなりません。

- 第三者の情報源（著者自身による新しいアイデアや知見あるいは一般的知識ではないこと）に依存する論文中の記述は、すべての情報源を引用しなければならない。
- 対象の論文を引用した論文を引用してはならない。例えば、対象の論文を引用した総説を引用するのではなく、対象の論文そのものを引用しなければならない。
- 引用は正確に行わなければならない（引用文献は論文中の記述をサポートする内容でなければならないし、著者の意図をサポートしない論文を引用してはならない）。
- 自ら読んでいない文献を引用してはならない。
- 自分自身や友人、あるいは所属機関の論文を優先的に引用してはならない。
- 1つの国の論文だけを引用しないようにしなければならない。

- 1つのポイントを指示するために過剰な数の論文を引用してはならない。
- 理想的には、可能ならば、査読が終了した論文を引用すること。
- 宣伝や類する記事を引用しないこと。

[Back to top](#)

## **Duplicate publication 二重出版**

全ての BMC ジャーナルに投稿された論文はオリジナルであって、原稿全体あるいはその相当な部分が、他のジャーナルでの出版を検討しているものであってはなりません。内容的な重複や二重投稿の可能性について、著者は透明性が要求されます。著者は、投稿にあたって重複出版の可能性について明らかにせねばなりません。いかなる重複出版も引用しなければなりません。引用された印刷中あるいは未発表論文、論文審査に関連する印刷中あるいは未発表論文は、編集委員から要求があった場合には提供しなければなりません。BMC は、潜在的に重複していたり二重投稿であることを、ケースバイケースを基本に判定する権限を有しています。

一般に、投稿論文は、他の雑誌や他の引用可能な形態で、公式にすでに出版されたものであってはなりません。投稿時に正当化され明らかにされるならば、このルールの適用外になることもあります。これらの例外については下記に示してあり、表 1 にまとめてあります。

BMC は、CrossCheck の剽窃検出イニシアティブのメンバーであり、出版における不正行為の全てを真摯に受け止めます。二重投稿のいかなる疑いも、COPE ガイドラインの枠組に従って取り扱われ、編集委員は著者の所属機関に照会します（より詳細は、'Misconduct' ポリシーを参照のこと）。BMC は、重複出版に関する ICMJE のポリシーを支持します。

## **Complete manuscripts フル論文**

### **Cochrane systematic reviews Cochrane システマティックレビュー**

BMC は、近年、Cochrane Library とのシステマティックレビューに関する共同出版の同意を交わしていません。従って、もし、実体のある新しい情報が提供されるならば、BMC は新しい Cochrane systematic reviews か Cochrane Library の論文のアップデート版の出版を検討します。

### **Co-publication in multiple journals 複数のジャーナルによる共同出版**

透明性が確保され、事前に適切なジャーナルとの同意が得られ、かつ、[ICMJE guidelines](#) の条件に従うものであれば、複数の雑誌での共同出版は編集者の裁量によって検討されま  
す。

### **Health technology assessment**

[NHS Health Technology Assessment \(HTA\)](#)プログラムのレポートは、完全オンラインで  
自由にアクセスすることができます。編集者の裁量によって、いくつかの BMC ジャーナル  
では、ピアレビューのためにこれらの論文の完全版または短縮版を検討します。

### **Pre-print servers and author/institutional repositories**

[ArXiv](#), [bioRxiv](#), [Peer J PrePrints](#) のような印刷前のサーバーやこれらと同様のプラットホ  
ーム（商業的、非商業的の両者）に論文原稿を掲載することは、二重出版とは見なされませ  
ん。BMC では、著者個人または所属機関のウェブサイトに掲載された査読中の論文原稿も  
同様に考えています。学位論文の一部を構成し公有となっている資料も、学位を授与した機  
関からの要請があれば BMC のジャーナルによって検討されるでしょう。

BMC は、ジャーナルへの掲載がアクセプトされた論文の著者自身によるセルフアーカイブ  
を推奨しています。

### **Translations into English 英語への翻訳**

著者は [ICMJE guidelines](#) を遵守しなければなりません。その上で、オリジナル著作物の著  
作権を侵害しないことやオリジナル出版社が Creative Commons Attribution License 4.0.  
に従って翻訳文の出版に対する許諾を与えていることをチェックするよう、オリジナルの  
出版社に対して請求しなければなりません。

### **Incomplete manuscripts フル論文以外の記事**

#### **Abridged articles 論文短縮版**

編集委員会の裁量において、いくつかの BMC ジャーナルでは、他のピアレビューの雑誌に  
既に出版された論文を実質的に拡大したバージョンの論文を検討することがあります。特  
に、Trials 誌は、これを活発に奨励しています。そのような場合でも、既に出版されている  
論文は、出版物として維持されます。新たに出版された拡大版の論文は、科学的な記録とし  
て実質的に新しい貢献をすることになります。該当する場合、拡大版の論文を投稿する前に、  
元の論文の出版社に同意を求めるべきです。

#### **Abstracts/posters 要約/ポスター**

フル論文は引用可能な科学的記録としての正式な進歩を示すので、400 語までのアブストラクトやポスターを学会等で発表し出版しても、フル論文として投稿し査読を受けることを妨げることはありません。フル論文を出版の時には、事前に出版されたアブストラクトを引用しなければなりません。多くの学会のプロシーディングスは許容された文字数制限を超えており、引用可能な形式をなっていることに留意してください。

### **Datasets データセット**

論文が投稿される前にデータのセットを公共的に使用できるようにすることは、BMC ジャーナルによる出版の検討を妨げるものではありません。研究助成を受ける研究者は研究成果データを共有することを要求する研究助成団体が増加しているので、BMC は、個人情報や慎重に取り扱うべき情報がきちんと守られるセーフガードが提供された上で、そのようなデータの共有を推奨します。詳しい情報は、「臨床データセットの出版」についてのポリシーを見て下さい。

### **Non-research articles 研究報告以外の記事**

研究論文以外の著者（通常は、総説とコメンタリー）は、他のジャーナルに既に公表された図や表を掲載することができます。その場合、元の論文の出版者の許可を得て、元の論文を引用しなければなりません。要求に応じて、この許諾を証明する文書を編集者に提出しなければなりません。

不注意やそのほかによる自己剽窃の可能性を避けるために、依頼された論文を書くことに同意した著者は、編集者に対して同様のトピックスに関する最近の出版や招待執筆について通知しなければなりません。

### **Open science オープンサイエンス**

もし、ブログ、ウィキ、SNS ウェブサイト、あるいはオンライン電子実験ノートなどで研究データについて議論したり公表したりしたとしても、BMC のジャーナルにそれらの知見を投稿することは可能です。しかし、これらのリソースは急速に進歩するという性質があるので、これらのサイトに公開されたデータや論文に関する議論が、その後に論文に書き加えられたものでないかどうか、投稿された論文が二重投稿に該当しないか、編集者は独自に評価を行います。

### **Study protocols 研究プロトコル**



研究プロトコルの出版は、研究結果が未公開になるリスクを低減し方法論的議論を促進します。そして、BMC ジャーナルの多くはこれを推奨しています。従って、研究結果の報告を投稿する前に研究プロトコルを前もって出版することは、二重出版とは見なされません。

**Summary clinical trial results in public registries 公共的レジストリに保管した臨床試験結果の要約**

臨床試験結果の要約を、公共でアクセスできるデータベースに公開することは、一般に二重出版とは見なされません。BMC は、臨床試験を報告する論文の著者には、適切にアクセス可能な登録機関に試験の内容を登録することを要求しています（より詳しくは、[Trial Registration]ポリシーをご覧ください）。アメリカ合衆国では、試験結果を [ClinicalTrials.gov](http://ClinicalTrials.gov) に投稿することが法令によって定められています。この法令については、[ここ](#)をご覧ください。

**Table 1. Generally permissible and non-permissible forms of duplicate/overlapping publication**

**表1 二重出版としての判断**

Previous publication	Guidance on permissibility
Abridged articles	At the Editor's discretion, provided there is agreement from the original journal/publisher and the original publication is cited
Abstracts up to 400 words or posters presented at scientific meetings	Yes - published abstracts should be cited
Co-publication in multiple journals	At the Editor's discretion and with conditions, as outlined in the ICMJE guidelines
Cochrane systematic reviews	No, unless original or substantially updated
Datasets in public or restricted access repositories	Yes - datasets should be cited in/hyperlinked from the manuscript if possible

Figures and tables in non-research articles	Yes, if, where applicable, permission has been obtained from the original publisher by the submitting author
Health Technology Assessment reports	At the Editor's discretion - contact the Editor for more information
Open science: data posted and discussed on wikis, blogs, online electronic lab notebooks, networking websites incorporated into submitted manuscript	Yes, usually permissible
Pre-print servers, including authors' personal and institutional websites	Yes
Study protocol published	Yes - published protocols should be cited
Summary results in clinical trial registries	Yes - accession number should be included in the abstract
Translations into English	At the Editor's discretion, provided there is agreement from the original journal/publisher, no breach of copyright and the original publication is cited.

[Back to top](#)

### **Text recycling 文章の再生利用(自己剽窃)**

すでに出版した自己の論文から文章をコピーして使用することは、テキストリサイクリング（または、自己剽窃）であり、認められない場合があることを認識しておかなければなりません。著者自身の過去の出版物からの文章の重複が避けられないような場合には、重複があることを明確に示し、著作権の規程に正しく対応しなければなりません。COPE と協力して、BMC では「編集者のためのテキストリサイクリング対応ガイドライン ([guidelines for Editors on how to deal with text recycling](#)) 」を作成しています。そこでは、テキスト

リサイクリングが認められる場合、認められない場合など、より詳しい情報が示されています。もし、論文に他のどこかで出版された文章が含まれている場合には、投稿の際に編集者に知らせて下さい。

[Back to top](#)

### **Peer review ピアレビュー (査読)**

BMC で出版される全ての研究論文、多くのその他の論文はピアレビューによって審査されます。これは、通常、2名の独立した査読者によって行われます。個々のジャーナルによってピアレビューのプロセスが異なります。たとえば、オープンピアレビューやクローズドピアレビューなどです。各ジャーナルのピアレビューポリシーについては、それぞれのジャーナルの'About'ページをご覧ください。

### **Peer review policy ピアレビューポリシー**

BMC に投稿された全ての論文は、編集委員長によってピアレビューに適したものであるかどうか評価されます。もし、編集委員長が著者の一人であったり、何らかの利益相反に該当する場合には、編集委員会の他のメンバーが責任編集委員として評価を行います。ピアレビューに適していると判断された投稿論文は、適切な独立した専門家による査読に送られます。編集委員会は査読者のレポートに基づいて決定を行い、著者は責任編集委員の審査結果と一緒に査読者のレポートを受け取ります。一人の査読者が肯定的に評価を行った場合でも、他方の査読者が否定的な評価を下した場合には、論文は却下となることがあることを承知しておいて下さい。

### **Open peer review オープンピアレビュー**

オープンピアレビューを採用しているジャーナルでは、ピアレビューレポートには査読者の氏名が示されます。さらに、論文が出版される際には、'pre-publication history(出版までの経緯)'として、論文と並んで署名付きの査読レポートがオンラインで公開されます。読者の要求に応じて、すべての修正前の論文や査読者に対する著者の対応を見ることができます。たまに、特定の論文について、'pre-publication history'の情報を見ることができない場合があります。

### **Closed peer review 匿名のピアレビュー**

多くのジャーナルはクローズドピアレビューを採用しています。査読者は匿名で、各論文の 'pre-publication history' はオンラインで見ることができません。

### **Peer reviewers 査読者**

著者は、希望する場合、査読候補者を指定することができます。しかし、これらの候補者を査読者にするかどうかは編集者の裁量によります。査読候補者には、同じ研究機関の最近の共同研究者や同僚を指定することはできません。査読候補者を指定する場合には、カバーレターに記載します。そこには、可能ならば所属機関の電子メールアドレス、または、編集者がその候補者を特定できるような情報（例えば、ORCID や Scopus ID）を記載して下さい。著者は、査読者にしないで欲しい者を要求することができます。しかし、その場合には、その理由をカバーレターに記して下さい。ピアレビューの妨げとなるので、あまりに多くの者を査読候補者から除外することはできません。編集者は、除外された者の中から査読者を選出することがあることに注意して下さい。

例えば、正しくない査読候補者の名前やメールアドレスなどを使って査読候補者を指定するなど、意図的に偽造した情報を記載した場合には論文は却下となり、BMC の不正行為ポリシーに従って、さらに調査を行います。

### **Portability of peer review 査読結果の互換**

#### **Within BioMed Central BMC 内部（BMC で出版しているジャーナル間での互換）**

効率的でかつ徹底した査読をサポートするために、BMC のジャーナルで却下された後の再投稿における査読の回数を減らすことを目指しています。それによって、出版までの過程が短縮され、査読者の負担が軽減されます。もし、論文が投稿先ジャーナルの対象とする領域に合致していないけれども、BMC の他のジャーナルのスコープに合っているような場合には、査読者のレポートと併せてそのジャーナルへの論文の再投稿を著者に勧めます。

他のジャーナルへの再投稿が適切であるか評価する為に著者にコンタクトする前に、編集者は、他のジャーナルの編集者に論文の事前審査を依頼します。もし、著者が他のジャーナルへの移行を希望しない場合には、投稿の時にカバーレターにその旨を記載して下さい。他のジャーナルとの査読結果の共有を希望しない査読者は、査読レポートの機密のセクションにその旨を記載します。論文の再投稿は、再投稿先のジャーナルに自動的にアクセプトされることを意味するものではありません。再投稿先の編集者は彼ら独自のピアレビューを行い、適切でないと判断された場合には却下されます。

もし、再投稿先がオープンピアレビューの雑誌に変更され、さらにその雑誌に出版されたときには、'pre-publication history(出版までの経緯)'を通じて査読者のレポートを、可能な限り閲覧できるようにします。例えば、最初にクローズドピアレビューの雑誌で査読された場合には、査読レポートの公開は行いません。BMC は査読者にレポートを公開するように依頼しますが、クローズドピアレビューの雑誌に査読レポートを提出した査読者は、その機密性と匿名性を維持することを望むことがあります。そのような場合には、個々の査読の経緯を説明するために、'pre-publication history(出版までの経緯)'に編集者からのノートに掲載します。最初にオープンピアレビューで査読され、後にクローズドピアレビューの雑誌に投稿先を変更し出版された場合には、論文と同時に並んで査読が出版されることはありません。

### **Between BioMed Central and other publishers/third parties BMC と他の出版社／第三者間**

BMC はピアレビューの効率を高め査読者の時間と努力を節約するための取組をサポートします。いくつかの BMC ジャーナルでは、例えば Neuroscience Peer Review Consortium や eLife consortium の雑誌など、他の出版社からの論文を検討します。また、例えば、Peerage of Science や Axios Review など、第三者によって査読された論文の掲載を検討しています。しかし、他の雑誌や独立した査読サービスからの査読レポート付きの投稿は、論文を受け取ることによって自動的にアクセプトされることを意味するものではなく、追加のピアレビューが行われます。

[Back to top](#)

### **Confidentiality 秘匿性**

BMC に投稿された全ての論文は秘密裏に処理されます。BMC は、COPE の Ethical Guidelines for Peer Reviewers を支持します。従って、査読者はピアレビューの過程についての秘匿性を遵守し、ピアレビューの最中や事後において、論文や査読の詳細について明かしてはなりません。もし、レビューの過程の中で他の専門家の協力を得たい場合には、最初に雑誌から許諾を得なければなりません。査読レポートが提出されるときには、レビューに関与した全ての個人の氏名を編集者に報告しなければなりません。

疑わしい不正のケースを除いて、BMC が外部の第三者と論文を共有することはありません。更なる情報は [Misconduct](#) ポリシーをご覧ください。投稿したジャーナル以外に論文が送られることを希望しない旨を、投稿時に著者が示さない限り、論文は BMC の他の編集者と共有されることがあります。更なる情報は [portability of peer review](#) ポリシーをご覧ください。

[Back to top](#)

### **Misconduct 不正行為**

BMC は、潜在的な不正行為は全て申立を行います。COPE のメンバーとして、全ての BMC ジャーナルは、疑わしい不正行為に対する対処を定めた [COPE guidelines](#) に従います。

研究上、出版上の不正行為の疑いについては、編集者は、例えば、著者の所属機関や倫理委員会のような、第三者に通報し論文を共有しなければなりません。また、BMC は COPE にアドバイスを求め、COPE フォーラムにおいて匿名で議論します。編集者は BMC の独立したオンブズマンにも参加を求めます。

### **Research misconduct 研究に関する不正行為**

ヒト（ヒトのデータ、試料を含む）と動物に関連した全ての研究は、適切な倫理的規程に基づいて実施されなければなりません（より詳しい情報は、[Ethics](#) ポリシーをご覧ください）。適切な倫理規程に基づいていない疑いがある場合には、編集者は論文を却下し、著者の所属機関や倫理委員会などの第三者に通報するかもしれません。

出版された論文を含んで研究不正が証明された場合や科学的な高潔性が著しく傷つけられた場合には、論文は撤回されます。更なる情報は [Retraction](#) ポリシーをご覧ください。

### **Publication misconduct 出版に関する不正行為**

COPE のメンバーとして、全ての BMC ジャーナルは潜在的な出版に関する不正への対処法を定めた [COPE guidelines](#) に従います。

### **Image manipulation 画像の改変**

[Journal of Cell Biology](#) の投稿規定に定められたガイドラインを推奨します。そこでは、ロックフェラー大学出版の許諾として以下が定められています。：

- 論文中の全てのデジタルイメージは、以下のガイドラインに矛盾する改変の可能性がないか綿密に検査されます。これらのガイドラインに違反する操作が加えられて

いる場合には、論文の審査が送れたり、却下されたり、あるいは、出版済みの論文が撤回されたりします。

- イメージ中の特定の特徴を、強調したり、不明瞭にしたり、異動させたり、削除したり、追加したりしてはなりません。
- 一つのゲルの異なる部分のイメージや、異なるゲルやフィールド、暴露処理からのイメージをまとめて提示する場合には、（例えば、分割線を表示するなど）図の配置によることが明らかなようにし、図の説明文にそのことを示さなければなりません。
- 明度、コントラスト、カラーバランスなどの調整は、イメージの全てのピクセルに対して実施され、背景を含んだオリジナルの画像に表現される情報が、不明瞭になったり、打ち消されたり、誤って表現されないならば、認められます。

ピアレビューの最中や事後に生じた疑問は編集委員に伝え、編集委員は論文に掲載された図と比較するために著者にオリジナルのデータの提示を要求します。もし、オリジナルのデータが提示されない場合には論文は却下され、既に出版されている場合には撤回されます。データの解釈に影響を与えるような操作が加えられた場合には、論文は却下か撤回となります。不正の疑いがある場合には著者の所属機関に通報されます。

### **Plagiarism 剽窃行為**

BMC は CrossCheck の剽窃検出イニシアティブのメンバーであり、剽窃検出ソフトウェアを使用します。もし、剽窃が明らかになった場合には、剽窃に関する COPE guidelines に従います。

[Back to top](#)

### **Corrections and retractions 訂正と撤回**

まれに、学術的記録の高潔性を維持するために、BMC のジャーナルに出版された論文を修正したり撤回したりする必要が生じます。

BMC の Permanency ポリシーにしたがって、出版された論文の訂正や撤回は Erratum や Retraction article を掲載することによって行われ、Erratum/Retraction article ヘルリンクを張る以外にはオリジナル論文への修正は加えられません。オリジナル論文の知的財産権は消滅した状態が維持され、Erratum や Retraction は広くインデックスされます。

試料が何らかの権利を侵害すると考えられたり、中傷的であったりするような例外的な事態には、BMC は私たちのサイトやアーカイブサイトから当該の試料を削除しなければならないでしょう。

### **Corrections 訂正**

論文の解釈や結論に影響を与えるが、論文そのものを全面的に無効にする必要のない場合は、編集者の裁量によって、当該のオリジナル論文にリンクを張った Erratum を掲載することによって訂正を行います。

### **Retractions 撤回**

希なケースですが、論文に掲載された科学的情報が実質的に不適切なものである時には、出版された論文は撤回される必要があります。BMC は COPE ガイドラインに従います。撤回論文（の通知？）は、索引に載せられ、当該のオリジナル論文にリンクされます。

[Back to top](#)

### **Appeals and complaints 不服申立**

BMC は、編集上の決定事項に対する不服申立について、COPE ガイドラインを支持します。より詳細な情報は、各ジャーナルの 'About' のページをご覧ください。

### **Peer-review policy ピアレビューポリシー**

ピアレビューは、論文が出版される前に、その質を評価する為に用いられるシステムのことです。当該の研究分野の独立した研究者が、その論文が当該のジャーナルに出版されるべきかどうかを決定するエディターの判断を助けるために、投稿された論文のオリジナリティ、妥当性、意義を評価します。ピアレビューのプロセスの詳細については、ここを参照して下さい。

JPA では、ダブルブラインドのピアレビューシステムを採用しています。査読者は著者の名前や所属を知りません。また、査読者のレポートは、匿名で著者に提示されます。

投稿された論文は、通常、2名以上の専門家によって査読されます。査読者は、その論文が科学的にしっかりしていて筋が通っているか、すでに出版されたものではないか、出版に対して十分に明晰であるか、を評価するよう依頼されます。審査担当エディターは、これらの



報告に基づいて結論を出しますが、必要であれば、編集委員会のメンバーが協議を行います。

採否に関する最初の決定は6週間以内に著者に提示することを目標にしています。

ダブルブラインドピアレビューの利点

ダブルブラインドピアレビューでは、査読者は著者に関する知識によるバイアスを受けることなく、論文の内容のみによって判断することが可能になります。

## **Manuscript transfers 他ジャーナルへの再投稿**

投稿した論文がリジェクトされた場合、BMCで刊行している他のジャーナルに、査読者のコメントを添えて論文を再投稿することができます。

あなたの研究を発表する適正な場所を見付けるためのお手伝いとして、再投稿のプロセスの全ての段階を通してガイダンスや技術的なサポートを提供します。

(図)

投稿したジャーナルにリジェクトされた

再投稿するジャーナルの候補が提示される

再投稿するジャーナルを選ぶ

新しいジャーナルに再投稿される

審査とピアレビューが行われる

### **What are the benefits of a transfer? 再投稿の利点は？**

**選択** – 他のジャーナルに再投稿する場合、BMCグループ内の適切なジャーナルを選ぶことができます。あなたの研究を発表するのに適した場所を見つけることをお手伝いし、よりよい読者に論文が読まれることとなります。

**時間の節約** – 原稿を再構成する必要はありません。ファイルは自動的に移行されます。

**査読者の負担軽減** – それまでの査読結果も移行されます

**迅速な出版** – 査読結果を移行することによって再査読を省略し、投稿から出版までを短縮します。

### **What is the Transfer Desk? 再投稿デスクとは？**

再投稿デスクとは、最初の投稿で論文が採択されなかった著者のお手伝いをするために用意されたわれわれの新しいサービスです。

あなたの研究のクオリティが高ければ、他のジャーナルに掲載されるかもしれません。再投稿デスクでは、出版のオプションや適切なジャーナルについての情報を提示することによって、論文の著者に必要な選択肢やサポートを提供することを目的にしています。それによって、あなたの研究にとって最もふさわしい発表の場所を見つけるお手伝いをする個人的な支援を提供します。

### **How does the Transfer Desk work? 再投稿デスクはどのような仕組みですか？**

再投稿デスク編集アシスタントは、私達のジャーナルの中からあなたの研究に最も適したジャーナルを見つけるためのジャーナルマッチング技術を使って、あなたの要望と編集委員のお勧めを照合します。

アシスタントは、常に再投稿に関連した質問に答えられるように準備をして、再投稿についての技術的なお手伝いをします。あなたに代わってジャーナルの編集者に交渉し投稿前の照会に対して迅速な回答を求めることも、楽しいことです。

もし、新しいジャーナルに再投稿する手順を進めることを希望されるなら、再投稿と新しいジャーナルへ原稿を送ることについての同意を入力する必要があります。

### **What if I do not want to transfer my manuscript at all? 再投稿を希望しない場合は？**

あなたの同意の入力なしに、論文が再投稿されることはありません。編集委員会が論文をリジェクトし再投稿が適当だと指示した場合には、編集委員は再投稿のオプションについての詳細な説明を含んだ文書を送付します。もし、この時点で再投稿しない場合には、文書に記載されたリンクに従って再投稿しないことを入力すれば、あなたのファイルは閉じられたままで維持されます。もし、送付された文書に対して何もしなかった場合も同様です。

### **Withdrawing a transfer 再投稿の取り消し**

再投稿デスクに連絡すれば、いつでも再投稿を取り消すことができます。編集者や再投稿デスクアシスタントが推薦したジャーナルに論文を再投稿したことに対する債務はありません。

### **Any questions? 質問は？**

再投稿デスクに連絡して下さい。

## **Promoting your publication 論文のプロモーション**

個々の論文は、BMC のマーケットチーム、コミュニケーションチームによって、様々な方法で広くプロモーションされます。プロモーションは、電子メールによる通知や BMC ホームページへの掲載、ソーシャルメディア、ブログ、プレスリリースなどによって行われます。これらによって、個々の論文の閲覧とダウンロードが増加します。

BMC のジャーナルは、多くの主要な学術集会でもプロモーションされます。これによって、あなたの研究は研究分野の専門家に注目されるようになります。

加えて、全ての出版された論文は、PubMed やその他の 40 以上の書誌データベースに自動的に掲載されます。全ての BMC ジャーナルは SpringerLink にもインデックスされます。SpringerLink は、世界で最も総合的な、科学、技術、医学系の学術雑誌と書籍、参考図書  
のオンラインコレクションです。

あなた自身のメールリストやソーシャルメディア、学会での配布、その他、あなたが希望するさまざまな革新的方法を使って、あなたの論文をプロモートして下さい。